

表-参3.5 定期点検結果一覧表 (5/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
21 (R5)	橋梁名	福田歩道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅲ(2)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206110220			損傷の種類	①腐食		その他（うき）		①支承の機能障害		支承のアンカーボルトのナットの機能に支障が生じている可能性がある。早期に処置を講ずる事が望ましい。
	上部工形式	2径間単純鋼合成H形橋										
	橋 長	28.00m										
	幅 員	3.10m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
22 (R2)	橋梁名	記念橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110230			損傷の種類							早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れは小さい状態。
	上部工形式	3径間単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	24.00m										
	幅 員	4.20m										
	架橋年次	1959年										
	経過年数	65年										
23 (R2)	橋梁名	牛追橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅲ(2)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206110240			損傷の種類	①腐食		その他（土砂流出）		①支承の機能障害		道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に対策処置を実施する必要がある。
	上部工形式	単純鋼合成H型橋										
	橋 長	18.50m										
	幅 員	5.30m										
	架橋年次	1969年										
	経過年数	55年										
24 (R2)	橋梁名	農道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110250			損傷の種類	①腐食		①腐食		腐食、破断		主桁、横桁に広範囲の腐食が見られる。経過観察を行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	単純鋼非合成H形橋										
	橋 長	17.60m										
	幅 員	3.40m										
	架橋年次	1966年										
	経過年数	58年										
25 (R2)	橋梁名	曾宇川橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110260			損傷の種類	①腐食		①腐食				主桁、横桁に広範囲の腐食が見られる。経過観察を行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	単純鋼H形橋										
	橋 長	14.50m										
	幅 員	3.20m										
	架橋年次	1967年										
	経過年数	57年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

















■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.6 定期点検結果一覧表 (6/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
26 (R2)	橋梁名	熊坂橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110270			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑧床版ひびわれ	その他（洗堀）	道路橋の機能に支障は生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	上部工形式	単純PCプレテン床版橋										
	橋 長	14.50m										
	幅 員	6.70m										
	架橋年次	1956年										
	経過年数	68年										
27 (R2)	橋梁名	雁田橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110280			損傷の種類						確認できる損傷は軽微であり、構造物の機能に支障が生じていない。定期点検にて経過観察とする。	
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	13.60m										
	幅 員	6.20m										
	架橋年次	1988年										
	経過年数	36年										
28 (R3)	橋梁名	熊坂中の橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	路面	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110290			損傷の種類	⑩路面の凹凸					主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。路面に凹凸が見られる。補修検討が望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋										
	橋 長	12.80m										
	幅 員	16.80m										
	架橋年次	2004年										
	経過年数	20年										
29 (R3)	橋梁名	庄司谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110300			損傷の種類							確認できる損傷はいずれも軽微である。 経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋										
	橋 長	12.20m										
	幅 員	5.70m										
	架橋年次	2000年										
	経過年数	24年										
30 (R2)	橋梁名	熊坂新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110310			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑧床版ひびわれ			早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れは小さいが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。		
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋										
	橋 長	12.40m										
	幅 員	6.50m										
	架橋年次	1975年										
	経過年数	49年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.7 定期点検結果一覧表 (7/65)







































番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見																																																				
			橋 面	側 面																																																												
31	橋梁名	北原橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	路面	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】																																																				
	橋梁管理番号	17206110320			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	その他（路面ひびわれ）				主桁全体にASRと推測されるひびわれ、損傷拡がりもあり、詳細調査の上、補修検討を行うことが望ましい。																																																					
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋																																																														
	橋 長	11.40m																																																														
	幅 員	5.00m																																																														
	架橋年次	1972年																																																														
	(R2)	経過年数	52年																																																													
32	橋梁名	菅谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206110330			損傷の種類							確認できる損傷はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。																																																				
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋																																																														
	橋 長	13.30m																																																														
	幅 員	7.20m																																																														
	架橋年次	1994年																																																														
	(R3)	経過年数	30年																																																													
33	橋梁名	庄司谷二号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206110340			損傷の種類							確認できる損傷はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。																																																				
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋																																																														
	橋 長	12.20m																																																														
	幅 員	5.20m																																																														
	架橋年次	2001年																																																														
	(R3)	経過年数	23年																																																													
34	橋梁名	日の谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】																																																				
	橋梁管理番号	17206110350			損傷の種類	⑥鉄筋露出		その他（漏水）		⑥鉄筋露出		主桁に損傷の進展がみられ、構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。 ※R4補修（断面修復工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す																																																				
	上部工形式	単純RCT桁橋																																																														
	橋 長	10.20m																																																														
	幅 員	5.40m																																																														
	架橋年次	1956年																																																														
	(R2)	経過年数	68年																																																													
35	橋梁名	神明橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】																																																				
	橋梁管理番号	17206110360			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				主桁支点部及支間中央部にかぶり不足によるひびわれ、損傷拡がりもあり、補修検討を行うことが望ましい。																																																				
	上部工形式	単純RCT桁橋																																																														
	橋 長	10.30m																																																														
	幅 員	8.00m																																																														
	架橋年次	1936年																																																														
	(R2)	経過年数	88年																																																													
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断													■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常													■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状													■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり													■①～⑭以外の損傷 その他												

表-参3.8 定期点検結果一覧表 (8/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
36 (R2)	橋梁名	直下橋			損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110370			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑫下部工の変状（洗堀）				A1・A2橋台に洗堀が確認でき、構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に補修を行う必要がある。 ※R6補修（断面修復工）施工済 ※左記2枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋 + 単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	11.07m										
	幅 員	7.65m										
	架橋年次	1983年										
	経過年数	41年										
37 (R2)	橋梁名	上宮橋			損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110380			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑫下部工の変状（洗堀）		①腐食		主桁下面にASRによるものと推測されるにひびわれが確認される。経過観察を注意深く行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	10.50m										
	幅 員	5.20m										
	架橋年次	1970年										
	経過年数	54年										
38 (R2)	橋梁名	小塩辻水門橋			損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110390			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑧床版ひびわれ		腐食、破断		主桁下面にASRによるものと推測されるひびわれが見られる。経過観察を注意深く行いつつ予防保全的措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	10.44m										
	幅 員	7.20m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
39 (R3)	橋梁名	前田橋			損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110400			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						主桁下面にASRと推測されるひびわれが生じている。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	10.24m										
	幅 員	7.55m										
	架橋年次	1980年										
	経過年数	44年										
40 (R2)	橋梁名	馬場先橋			損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110410			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出		その他（欠損、うき）		道路橋の機能に支障が生ずる可能性があり、早期に措置を講ずることが望ましい状態である。 ※R5補修（支承取替工、横桁増厚工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純RCT桁橋										
	橋 長	9.20m										
	幅 員	8.00m										
	架橋年次	1936年										
	経過年数	88年										
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断												
■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常												
■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状												
■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり												
■①～⑭以外の損傷 その他												

表-参3.9 定期点検結果一覧表 (9/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況								所 見
			橋 面	側 面									
41	橋梁名	城南橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】	
	橋梁管理番号	17206110420			損傷の種類							確認できる損傷は軽微であり、構造物の機能に支障が生じていない。定期点検にて経過観察とする。	
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋											
	橋 長	10.10m											
	幅 員	5.50m											
	架橋年次	1962年											
	(R2) 経過年数	62年											
42	橋梁名	曙橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅱ(3)	伸縮装置	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】	
	橋梁管理番号	17206110430			損傷の種類	⑨PC定着部の異常		⑪支承の機能障害		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		道路橋の機能に支障が生じてない状態であるが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
	上部工形式	単純鋼H形橋 + 単純PCプレテンT桁橋											
	橋 長	9.70m											
	幅 員	6.10m											
	架橋年次	1964年											
	(R2) 経過年数	60年											
43	橋梁名	高野橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ(2)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅲ(2)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】	
	橋梁管理番号	17206110440			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑪支承の機能障害		主桁・支承損傷は、構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態である。	
	上部工形式	単純鋼合成H形橋											
	橋 長	9.44m											
	幅 員	5.50m											
	架橋年次	1987年											
	(R2) 経過年数	37年											
44	橋梁名	荻生橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	床版	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】	
	橋梁管理番号	17206110450			損傷の種類	⑥鉄筋露出		その他（うき）				道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
	上部工形式	単純RCT桁橋											
	橋 長	9.10m											
	幅 員	5.15m											
	架橋年次	1954年											
	(R2) 経過年数	70年											
45	橋梁名	大手橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】	
	橋梁管理番号	17206110460			損傷の種類	⑨PC定着部の異常		⑨PC定着部の異常		⑪支承の機能障害		道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋											
	橋 長	9.06m											
	幅 員	4.50m											
	架橋年次	1968年											
	(R2) 経過年数	56年											

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.10 定期点検結果一覧表 (10/65)














番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況								所 見
			橋 面	側 面	損傷部位		横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅱ(3)	
46	橋梁名	太鼓橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】	
	橋梁管理番号	17206110470			損傷の種類	⑨PC定着部の異常		⑨PC定着部の異常		⑪支承の機能障害		道路橋の機能に支障は生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。 ※R4補修（断面修復工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す	
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋											
	橋 長	9.05m											
	幅 員	6.00m											
	架橋年次	1963年											
	(R2) 経過年数	61年											
47	橋梁名	錦城橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】	
	橋梁管理番号	17206110480			損傷の種類						早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れは小さい状態。		
	上部工形式	単純PCプレテン床版橋											
	橋 長	9.20m											
	幅 員	7.00m											
	架橋年次	1992年											
	(R2) 経過年数	32年											
48	橋梁名	古呂場橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】	
	橋梁管理番号	17206110490			損傷の種類						損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。		
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋											
	橋 長	8.50m											
	幅 員	6.70m											
	架橋年次	1974年											
	(R2) 経過年数	50年											
49	橋梁名	箕ノ輪橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	その他	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】	
	橋梁管理番号	17206110500			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		その他（路面ひびわれ）			主桁全体にASRと推測されるひびわれ、損傷拡がりもあり、詳細調査の上、補修検討を行うことが望ましい。		
	上部工形式	単純PCプレテン中空床板橋											
	橋 長	8.40m											
	幅 員	7.00m											
	架橋年次	1974年											
	(R2) 経過年数	50年											
50	橋梁名	馬太郎橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】	
	橋梁管理番号	17206110510			損傷の種類						確認できる損傷は軽微であり、構造物の機能に支障が生じていない。定期点検にて経過観察とする。		
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋											
	橋 長	9.40m											
	幅 員	6.60m											
	架橋年次	1968年											
	(R2) 経過年数	56年											
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ■①～⑭以外の損傷 その他													

表-参3.11 定期点検結果一覧表 (11/65)































番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
51	橋梁名	八幡橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110520			損傷の種類	①腐食						防護柵に局所的な孔食が確認できる。予防保全の観点から、補修検討することが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	8.20m										
	幅 員	4.50m										
	架橋年次	1965年										
	(R2)	経過年数	59年									
52	橋梁名	畑岡橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110530			損傷の種類							確認できる損傷は軽微であり、構造物の機能に支障が生じていない。定期点検にて経過観察とする。
	上部工形式	単純鋼合成H形橋										
	橋 長	7.90m										
	幅 員	4.70m										
	架橋年次	1966年										
	(R2)	経過年数	58年									
53	橋梁名	大正橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110540			損傷の種類	その他（うき）		その他（うき）		その他（石積みの異常）		道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に対処処置を実施する必要がある。 ※R6補修（断面修復工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純RCT桁橋										
	橋 長	7.80m										
	幅 員	3.60m										
	架橋年次	1946年										
	(R2)	経過年数	78年									
54	橋梁名	善助橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110550			損傷の種類	⑥鉄筋露出						主桁に広範囲の鉄筋露出が確認される。経過観察を行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	単純RCⅡスラブ桁橋										
	橋 長	7.42m										
	幅 員	4.00m										
	架橋年次	1966年										
	(R2)	経過年数	58年									
55	橋梁名	田尻橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	排水施設	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110570			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		腐食、破断				主桁下面にASRによるものと推測されるひびわれが見られる。経過観察を注意深く行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	7.25m										
	幅 員	7.30m										
	架橋年次	1978年										
	(R2)	経過年数	46年									
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ■①～⑬以外の損傷 その他												

表-参3.12 定期点検結果一覧表 (12/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
56 (R3)	橋梁名	湯出橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110580			損傷の種類						確認できる損傷はいずれも軽微である。 経過観察が望ましい。	
	上部工形式	PCボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	7.60m										
	幅 員	7.60m										
	架橋年次	2005年										
	経過年数	19年										
57 (R2)	橋梁名	日谷2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110610			損傷の種類	その他(変形)					地覆・防護柵の欠損・変形がみられ、第三者被害も考え、予防保全の観点から、補修検討することが望ましい。	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	6.10m										
	幅 員	5.60m										
	架橋年次	1973年										
	経過年数	51年										
58 (R2)	橋梁名	コイト橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110620			損傷の種類	その他(欠損)					主桁拡幅(縦目地部)に欠損(一部錆)、漏水を確認。予防保全の観点から、補修検討することが望ましい。	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	6.00m										
	幅 員	7.20m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										
59 (R2)	橋梁名	チサ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110630			損傷の種類						特になし。	
	上部工形式	RCボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	9.60m										
	架橋年次	1994年										
	経過年数	30年										
60 (R2)	橋梁名	深田橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110640			損傷の種類	①腐食					防護柵全体に経年劣化による腐食、局部的な孔食が確認できる。計画的な更新が望ましい。	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	5.85m										
	幅 員	5.60m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

















■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.13 定期点検結果一覧表 (13/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
61	橋梁名	花房橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	下部工	健全性：Ⅱ(3)	地覆	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110650			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		その他（欠損）				A2橋台横方向ひびわれ(欠損も推測される)がみられ、予防保全の観点から補修検討を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	5.80m										
	幅 員	8.30m										
	架橋年次	1984年										
	(R2)	経過年数	40年									
62	橋梁名	鯉橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	床版	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110660			損傷の種類	⑧床版ひびわれ						早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れは小さいが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	5.50m										
	幅 員	7.50m										
	架橋年次	1966年										
	(R2)	経過年数	58年									
63	橋梁名	大手小橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)	伸縮装置	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110670			損傷の種類	⑥鉄筋露出		その他（うき）		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		道路橋の機能に支障が生ずる可能性があり、早期に措置を講ずることが望ましい状態である。 ※R5補修（断面修復工、表面含侵工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純PCπスラブ橋										
	橋 長	5.35m										
	幅 員	11.05m										
	架橋年次	1946年										
	(R2)	経過年数	78年									
64	橋梁名	蔵谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110680			損傷の種類							頂板に損傷の進展を確認。構造に支障はないが、注視の上、進行状況に応じた対策を講じることが望ましい。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	6.30m										
	幅 員	8.00m										
	架橋年次	1999年										
	(R2)	経過年数	25年									
65	橋梁名	橘橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110690			損傷の種類							確認できる損傷はいずれも軽微である。 経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテン床版橋										
	橋 長	15.00m										
	幅 員	7.20m										
	架橋年次	2000年										
	(R3)	経過年数	24年									

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断
















■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.14 定期点検結果一覧表 (14/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
66 (R2)	橋梁名	一本橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110700			損傷の種類							早期に道路橋の機能に支障が生ずる恐れは小さい状態。
	上部工形式	単純PC π スラブ橋										
	橋 長	5.00m										
	幅 員	4.00m										
	架橋年次	1983年										
	経過年数	41年										
67 (R5)	橋梁名	三木橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	下部工	健全性：Ⅲ(2)	地覆	健全性：Ⅲ(2)	高欄・防護柵	健全性：Ⅲ(2)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206110710			損傷の種類	その他（うき）		その他（うき）		③ボルトの脱落		橋脚や付属部材にうきやひびわれがみられる。断面修復および路面の補修が望ましい。
	上部工形式	3径間連続斜材付PC π スラブラーメン橋										
	橋 長	50.70m										
	幅 員	5.00m										
	架橋年次	1973年										
	経過年数	51年										
68 (R3)	橋梁名	合庁橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110720			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	14.40m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										
69 (R3)	橋梁名	深谷橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	下部工	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110730			損傷の種類	⑫下部工の変状（洗掘）						側壁に洗掘、ひびわれが見られる。対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	5.60m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
70 (R3)	橋梁名	永井大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	伸縮装置	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110740			損傷の種類	その他（変形・欠損）						橋脚にひびわれが確認できるが軽微であり、健全Ⅰと判断した。
	上部工形式	3径間単純PCボス騰T桁橋										
	橋 長	78.90m										
	幅 員	8.55m										
	架橋年次	1993年										
	経過年数	31年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.15 定期点検結果一覧表 (15/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
71 (R5)	橋梁名	敷地 3 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110750			損傷の種類						橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。	
	上部工形式	単純RC床版橋 +RCボックスカルバート										
	橋 長	2.50m										
	幅 員	7.15m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										
72 (R2)	橋梁名	前田橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	下部工	健全性：Ⅱ(3)				道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】	
	橋梁管理番号	17206110760			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。		
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	6.00m										
	幅 員	2.50m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										
73 (R5)	橋梁名	古川橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】	
	橋梁管理番号	17206110770			損傷の種類						橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。	
	上部工形式	PCボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	3.50m										
	幅 員	7.00m										
	架橋年次	2002年										
	経過年数	22年										
74 (R3)	橋梁名	瀬越小橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)		道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】	
	橋梁管理番号	17206110780			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		主桁下面、下部工にASRと推測されるひびわれが生じている。注視の上、詳細調査、補修検討が望ましい。			
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	4.80m										
	幅 員	10.50m										
	架橋年次	1995年										
	経過年数	29年										
75 (R2)	橋梁名	宮北橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位						道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】	
	橋梁管理番号	17206110790			損傷の種類					確認できる損傷は軽微であり、構造物の機能に支障が生じていない。定期点検にて経過観察とする。		
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	6.30m										
	幅 員	8.00m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断














■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.16 定期点検結果一覧表 (16/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
76 (R4)	橋梁名	中橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110800			損傷の種類	⑥鉄筋露出		その他（石積みの異常）				主桁に鉄筋露出、石積み橋台に劣化が生じている。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.10m										
	幅 員	4.80m										
	架橋年次	1946年										
	経過年数	78年										
77 (R4)	橋梁名	中和橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ(2)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206110810			損傷の種類	⑥鉄筋露出						主桁に広範囲に及ぶ鉄筋露出が生じている。予防保全の観点から早期に補修を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	5.50m										
	架橋年次	1954年										
	経過年数	70年										
78 (R4)	橋梁名	辺尻橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110820			損傷の種類							軽微な損傷が確認できるが、構造に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	6.30m										
	幅 員	9.00m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										
79 (R4)	橋梁名	一本橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110830			損傷の種類							軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	6.30m										
	幅 員	14.00m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										
80 (R5)	橋梁名	上木平成大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110840			損傷の種類							軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	3径間連続プレビーム合成桁橋										
	橋 長	75.60m										
	幅 員	10.00m										
	架橋年次	2015年										
	経過年数	9年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断






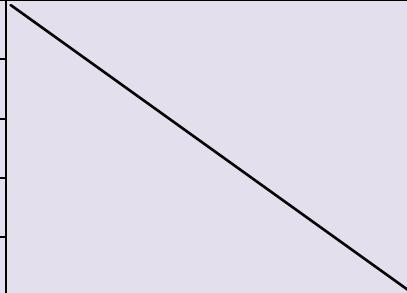




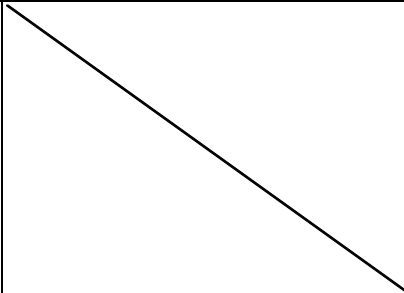


■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.17 定期点検結果一覧表 (17/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
81 (R2)	橋梁名	永町1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110850			損傷の種類							
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	6.50m										
	架橋年次	1987年										
	経過年数	37年										
82 (R2)	橋梁名	錦橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110860			損傷の種類	⑥鉄筋露出						床版に剥離が見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	3.60m										
	架橋年次	1975年										
	経過年数	49年										
83 (R4)	橋梁名	十一橋		上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110870			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				床版全体にひび割れ、側壁に洗掘、ひび割れが見られる。対策を行うことが望ましい。（橋面写真なし）
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	2.80m										
	架橋年次	1930年										
	経過年数	94年										
84 (R3)	橋梁名	幸橋	起点側から終点側を望む		損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110880			損傷の種類							
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	8.80m										
	架橋年次	1982年										
	経過年数	42年										
85 (R4)	橋梁名	幸町2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110890			損傷の種類							
	上部工形式	ボックスカルバート										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	14.30m										
	架橋年次	2022年										
	経過年数	2年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.18 定期点検結果一覧表 (18/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
86 (R2)	橋梁名	敷地 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110900			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						床版に縦断方向のひびわれが見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	2.70m										
	架橋年次	1980年										
	経過年数	44年										
87 (R2)	橋梁名	敷地 2 号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110910			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	5.00m										
	架橋年次	1980年										
	経過年数	44年										
88 (R3)	橋梁名	神様 2 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110920			損傷の種類							BOXにひびわれが見られず、局部的な損傷もないため構造物の機能に支障が生じていない状態である。
	上部工形式	ボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	2.80m										
	幅 員	5.00m										
	架橋年次	2002年										
	経過年数	22年										
89 (R2)	橋梁名	三木橋		上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110930			損傷の種類							特になし。 (橋面写真なし)
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	16.50m										
	架橋年次	1975年										
	経過年数	49年										
90 (R2)	橋梁名	ドンタニ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110950			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	8.00m										
	架橋年次	1963年										
	経過年数	61年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断













■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.19 定期点検結果一覧表 (19/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
91 (R3)	橋梁名	第一花房橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110960			損傷の種類	その他（豆板）						床版裏に骨材露出が見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	14.00m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
92 (R3)	橋梁名	第二花房橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206110970			損傷の種類	⑥鉄筋露出						床版裏に鉄筋露出が見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	10.50m										
	架橋年次	1963年										
	経過年数	61年										
93 (R3)	橋梁名	第三花房橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110980			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	10.00m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
94 (R3)	橋梁名	細坪橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110990			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	5.10m										
	架橋年次	1963年										
	経過年数	61年										
95 (R3)	橋梁名	中畷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206111000			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	5.20m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.20 定期点検結果一覧表 (20/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
96 (R3)	橋梁名	日谷一号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	下部工	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206111020			損傷の種類	その他（洗堀）						側壁に洗堀が見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	5.60m										
	架橋年次	1966年										
	経過年数	58年										
97 (R2)	橋梁名	上河崎 5 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	下部工	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206111040			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						側壁に横断方向のひびわれが見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	6.20m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
98 (R2)	橋梁名	細坪 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206111050			損傷の種類							特に問題なし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	10.40m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
99 (R3)	橋梁名	幸町 1 号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206111060			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	14.30m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										
100 (R2)	橋梁名	三木 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206111070			損傷の種類							特に問題なし。
	上部工形式	PCボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	8.00m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.21 定期点検結果一覧表 (21/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
101 (R3)	橋梁名	黒瀬 4 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206111080			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	6.70m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										
102 (R2)	橋梁名	片野 1 号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206111090			損傷の種類							特に問題なし。
	上部工形式	ボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	22.00m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										
103 (R2)	橋梁名	北山田橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206111100			損傷の種類							特に問題なし。
	上部工形式	PCボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	8.20m										
	架橋年次	1994年										
	経過年数	30年										
104 (R5)	橋梁名	三ツ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	床版	健全性：Ⅱ (3)	下部工	健全性：Ⅱ (3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206111110			損傷の種類	その他 (うき)		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				各部材にひびわれが見られるが、局所的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	8径間単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	73.00m										
	幅 員	5.50m										
	架橋年次	1946年										
	経過年数	78年										
105 (R4)	橋梁名	大聖寺川橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)	床版	健全性：Ⅱ (3)	支承	健全性：Ⅱ (3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120010			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ		⑪支承の機能障害		鋼部材に広範囲な腐食が生じており損傷の進行も確認できる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。
	上部工形式	5径間単純鋼リベット非合成版桁橋										
	橋 長	60.91m										
	幅 員	3.50m										
	架橋年次	1978年										
	経過年数	46年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.22 定期点検結果一覧表 (22/65)














番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
106 (R5)	橋梁名	桑原大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	下部工	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120020			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰					予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
	上部工形式	9径間単純PC π スラブ橋										
	橋 長	57.10m										
	幅 員	3.70m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										
107 (R4)	橋梁名	新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	路面	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120030			損傷の種類	⑨PC定着部の異常	⑨PC定着部の異常	⑨PC定着部の異常	その他（舗装ひびわれ）	主桁、横桁にPC定着部の異常が見られる。予防保全の観点から補修等を行うことが望ましい。		
	上部工形式	2径間単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	46.00m										
	幅 員	8.20m										
	架橋年次	1972年										
	経過年数	52年										
108 (R3)	橋梁名	河南大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120040			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰					PC桁端部のフランジ下面にひびわれからの遊離石灰が確認できる。経過観察し対応を講じることが望ましい。	
	上部工形式	3径間単純PCポステンT桁橋										
	橋 長	45.00m										
	幅 員	6.70m										
	架橋年次	1959年										
	経過年数	65年										
109 (R3)	橋梁名	獅子岩大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120050			損傷の種類						主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。	
	上部工形式	2径間単純鋼合成H形橋										
	橋 長	40.00m										
	幅 員	4.20m										
	架橋年次	2000年										
	経過年数	24年										
110 (R3)	橋梁名	土合橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120060			損傷の種類	①腐食	⑧床版ひびわれ	⑪支承の機能障害	主桁、横桁、支承に広範囲の腐食、床版ひびわれが見られる。補修検討が望ましい。			
	上部工形式	単純鋼H形橋										
	橋 長	25.70m										
	幅 員	4.80m										
	架橋年次	1971年										
	経過年数	53年										
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ■①～⑭以外の損傷 その他												

表-参3.23 定期点検結果一覧表 (23/65)

























番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況								所 見
			橋 面	側 面									
111	橋梁名	宇谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】	
	橋梁管理番号	17206120070			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ		⑪支承の機能障害		主桁に局所的な板厚減少を伴う腐食、床版に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。経過観察を行いつつ、予防保全措置を講ずるのが望ましい。	
	上部工形式	2径間単純鋼非合成H形橋											
	橋 長	25.00m											
	幅 員	3.60m											
	架橋年次	1973年											
	(R2) 経過年数	51年											
112	橋梁名	水田丸大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】	
	橋梁管理番号	17206120080			損傷の種類	①腐食						主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。	
	上部工形式	単純鋼合成H形橋											
	橋 長	17.61m											
	幅 員	5.10m											
	架橋年次	1977年											
	(R3) 経過年数	47年											
113	橋梁名	須谷大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】	
	橋梁管理番号	17206120090			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。	
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋											
	橋 長	17.20m											
	幅 員	4.50m											
	架橋年次	1963年											
	(R3) 経過年数	61年											
114	橋梁名	伝平橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	排水施設	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】	
	橋梁管理番号	17206120100			損傷の種類	⑨PC定着部の異常（うき）		①腐食				横桁に欠損が見られる。補修検討が望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋											
	橋 長	14.50m											
	幅 員	6.00m											
	架橋年次	1984年											
	(R3) 経過年数	40年											
115	橋梁名	メガネ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】	
	橋梁管理番号	17206120110			損傷の種類							主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。	
	上部工形式	石橋 アーチ橋											
	橋 長	10.20m											
	幅 員	3.90m											
	架橋年次	1980年											
	(R3) 経過年数	44年											
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ■①～⑭以外の損傷 その他													

表-参3.24 定期点検結果一覧表 (24/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
116 (R3)	橋梁名	さくら橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	路面	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120120			損傷の種類	⑩路面の凹凸						主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。路面に凹凸が見られる。補修検討が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋										
	橋 長	9.30m										
	幅 員	7.30m										
	架橋年次	1997年										
	経過年数	27年										
117 (R3)	橋梁名	別所橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120130			損傷の種類							縦壁の遊離石灰を伴うひびわれは局所的である。経過観察を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	8.80m										
	幅 員	5.00m										
	架橋年次	1971年										
	経過年数	53年										
118 (R3)	橋梁名	別所2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120140			損傷の種類							確認できる損傷はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	8.30m										
	幅 員	5.00m										
	架橋年次	1971年										
	経過年数	53年										
119 (R2)	橋梁名	尾俣小橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	路面	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120150			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑧床版ひびわれ		⑩路面の凹凸		主桁下面にASRによるものと推測されるひびわれが見られる。経過観察を注意深く行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	7.40m										
	幅 員	12.00m										
	架橋年次	1975年										
	経過年数	49年										
120 (R3)	橋梁名	市之瀬2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120160			損傷の種類							確認できる損傷はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純RCT桁橋										
	橋 長	6.60m										
	幅 員	6.62m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 25 定期点検結果一覧表 (25/65)















番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見											
			橋 面	側 面																		
121	橋梁名	中新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】										
	橋梁管理番号	17206120170			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。										
	上部工形式	単純RC床版橋																				
	橋 長	6.05m																				
	幅 員	5.75m																				
	架橋年次	1963年																				
	(R3) 経過年数	61年																				
122	橋梁名	井詰橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】										
	橋梁管理番号	17206120180			損傷の種類							主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。										
	上部工形式	単純RC床版橋																				
	橋 長	6.00m																				
	幅 員	10.80m																				
	架橋年次	1974年																				
	(R3) 経過年数	50年																				
123	橋梁名	大和町 8 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ(2)	床版	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】										
	橋梁管理番号	17206120190			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ				主桁支点部の腐食が広範囲にあり、橋梁の機能に支障が生じる可能性がある。早期に措置を講ずるべきである。										
	上部工形式	単純鋼非合成H形橋																				
	橋 長	6.00m																				
	幅 員	5.40m																				
	架橋年次	1975年																				
	(R3) 経過年数	49年																				
124	橋梁名	大和町 7 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】										
	橋梁管理番号	17206120200			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						主桁下面にASRと推測されるひびわれが多数生じている。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。										
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋																				
	橋 長	5.80m																				
	幅 員	6.05m																				
	架橋年次	1975年																				
	(R3) 経過年数	49年																				
125	橋梁名	大和町 6 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】										
	橋梁管理番号	17206120210			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						全主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。										
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋																				
	橋 長	5.70m																				
	幅 員	6.05m																				
	架橋年次	1975年																				
	(R3) 経過年数	49年																				
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断													■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常			■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状			■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり		■①～⑭以外の損傷 その他	

表-参3. 26 定期点検結果一覧表 (26/65)















番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見																																																				
			橋 面	側 面																																																												
126	橋梁名	鹿ヶ鼻橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120220			損傷の種類							確認できる損傷はいずれも軽微である。 経過観察が望ましい。																																																				
	上部工形式	単純PC π スラブ桁橋																																																														
	橋 長	5.70m																																																														
	幅 員	14.10m																																																														
	架橋年次	1990年																																																														
	(R3) 経過年数	34年																																																														
127	橋梁名	大和町2号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120230			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。 注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。																																																				
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋																																																														
	橋 長	5.65m																																																														
	幅 員	12.00m																																																														
	架橋年次	1975年																																																														
	(R3) 経過年数	49年																																																														
128	橋梁名	どんど橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	その他	健全性：Ⅱ(3)	その他	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120240			損傷の種類	②亀裂		②亀裂				防護柵は全体的に腐食し、亀裂や孔食等 がみられる。注視の上、状況に応じて対 策を講ずることが望ましい。																																																				
	上部工形式	単純RC床版橋																																																														
	橋 長	5.50m																																																														
	幅 員	4.00m																																																														
	架橋年次	1974年																																																														
	(R3) 経過年数	50年																																																														
129	橋梁名	森橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120250			損傷の種類							主要部材に確認できる変状はいずれも軽 微である。経過観察が望ましい。																																																				
	上部工形式	単純RC床版橋																																																														
	橋 長	5.50m																																																														
	幅 員	5.35m																																																														
	架橋年次	1974年																																																														
	(R3) 経過年数	50年																																																														
130	橋梁名	大和町4号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120260			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。 注視の上、詳細調査、補修検討の実 施が望ましい。																																																				
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋																																																														
	橋 長	5.50m																																																														
	幅 員	6.05m																																																														
	架橋年次	1975年																																																														
	(R3) 経過年数	49年																																																														
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断													■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常													■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状													■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり													■①～⑭以外の損傷 その他												

表-参3.27 定期点検結果一覧表 (27/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
131	橋梁名	大和町 3 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120270			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						全主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	5.50m										
	幅 員	6.05m										
	架橋年次	1975年										
	(R3) 経過年数	49年										
132	橋梁名	大和町 5 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120280			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						全主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	5.50m										
	幅 員	6.05m										
	架橋年次	1975年										
	(R3) 経過年数	49年										
133	橋梁名	嶽の橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ (2)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206120290			損傷の種類	⑥鉄筋露出						主桁の断面減少を伴う鉄筋露出は広範囲に亘り耐力低下が懸念される。早期に対策を講じることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.85m										
	幅 員	3.05m										
	架橋年次	1963年										
	(R3) 経過年数	61年										
134	橋梁名	尾俣橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120300			損傷の種類							主桁の鉄筋露出は局所的である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純鋼H形橋 + 単純RC床版橋										
	橋 長	5.90m										
	幅 員	9.95m										
	架橋年次	1975年										
	(R3) 経過年数	49年										
135	橋梁名	大和町 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)	その他	健全性：Ⅱ (3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120310			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		その他（路面ひびわれ）				全主桁下面にASRと推測されるひびわれあり。注視の上、詳細調査、補修検討の実施が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	5.00m										
	幅 員	6.05m										
	架橋年次	1975年										
	(R3) 経過年数	49年										
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断 ■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常 ■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状 ■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり ■①～⑭以外の損傷 その他												

表-参3. 28 定期点検結果一覧表 (28/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
136 (R3)	橋梁名	保賀 1 号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120320			損傷の種類							橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。
	上部工形式	ボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	6.40m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										
137 (R3)	橋梁名	河南小橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ(2)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206120330			損傷の種類	⑥鉄筋露出						主桁の断面減少を伴う鉄筋露出は広範囲に亘り耐力低下が懸念される。早期に対策を講じることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.75m										
	幅 員	7.45m										
	架橋年次	1950年										
	経過年数	74年										
138 (R5)	橋梁名	松山橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120340			損傷の種類							主桁に局所的な鉄筋露出有り。構造に影響はないと判断でき、経過観察により対応を講じることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.60m										
	幅 員	6.63m										
	架橋年次	1952年										
	経過年数	72年										
139 (R5)	橋梁名	太鼓山橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120350			損傷の種類							確認できる損傷はいずれも軽微であり、経過観察による対応が望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.70m										
	幅 員	5.50m										
	架橋年次	1980年										
	経過年数	44年										
140 (R5)	橋梁名	御水道 2 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120360			損傷の種類							橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	2.30m										
	幅 員	6.30m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.29 定期点検結果一覧表 (29/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
141	橋梁名	山背橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120370			損傷の種類							軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	単純RCボックスカルバート + 単純RC床版橋										
	橋 長	2.90m										
	幅 員	13.10m										
	架橋年次	1984年										
	(R4)	経過年数	40年									
142	橋梁名	柳橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120380			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑧床版ひびわれ		その他（うき）		RC主桁ゲルバー部周辺に鉄筋露出が見られる。早期に対策を検討する必要がある。 ※R5補修（断面修復工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	RCゲルバー桁+PCプレテンT桁橋										
	橋 長	43.70m										
	幅 員	8.70m										
	架橋年次	2002年										
	(R2)	経過年数	22年									
143	橋梁名	市之瀬5号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120390			損傷の種類							軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.50m										
	幅 員	5.95m										
	架橋年次	1974年										
	(R4)	経過年数	50年									
144	橋梁名	皿屋橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120400			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						主桁にASRの疑いがある軸方向のひびわれが見られる。詳細調査とそれを踏まえた予防保全措置の検討が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	9.70m										
	幅 員	10.50m										
	架橋年次	1978年										
	(R4)	経過年数	46年									
145	橋梁名	番堤橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120410			損傷の種類	その他（補強鋼板の腐食）		⑥鉄筋露出				主桁に鋼板接着部の腐食、うき、張出し床版に鉄筋露出が認められる。対策を検討することが望ましい。
	上部工形式	既設：単純RCT桁橋 拡幅：単純PCプレテン床版橋										
	橋 長	11.10m										
	幅 員	9.70m										
	架橋年次	1989年										
	(R4)	経過年数	35年									

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 30 定期点検結果一覧表 (30/65)











番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見																																																					
			橋 面	側 面																																																												
146	橋梁名	河南新大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120420			損傷の種類							損傷は軽微であり、定期点検にて経過観察が望ましい。																																																				
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋																																																														
	橋 長	49.40m																																																														
	幅 員	12.90m																																																														
	架橋年次	2013年																																																														
	(R5) 経過年数	11年																																																														
147	橋梁名	山代跨道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120430			損傷の種類							損傷は軽微であり、定期点検にて経過観察が望ましい。																																																				
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋																																																														
	橋 長	18.00m																																																														
	幅 員	13.89m																																																														
	架橋年次	2014年																																																														
	(R5) 経過年数	10年																																																														
148	橋梁名	1号函渠	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120440			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察とする。																																																				
	上部工形式	RCボックスカルバート																																																														
	橋 長	8.40m																																																														
	幅 員	14.00m																																																														
	架橋年次	2013年																																																														
	(R5) 経過年数	11年																																																														
149	橋梁名	開陽橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120450			損傷の種類							特に問題なし。																																																				
	上部工形式	単純RC床版橋																																																														
	橋 長	4.00m																																																														
	幅 員	5.50m																																																														
	架橋年次	1978年																																																														
	(R2) 経過年数	46年																																																														
150	橋梁名	大堰宮橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120460			損傷の種類							特に問題なし。																																																				
	上部工形式	RCボックスカルバート																																																														
	橋 長	4.00m																																																														
	幅 員	12.70m																																																														
	架橋年次	1974年																																																														
	(R2) 経過年数	50年																																																														
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断													■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常													■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状													■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり													■①～⑭以外の損傷 その他												

表-参3.31 定期点検結果一覧表 (31/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
151	橋梁名	市之瀬1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120470			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	6.60m										
	架橋年次	1984年										
	(R2) 経過年数	40年										
152	橋梁名	桂谷橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120480			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	5.00m										
	幅 員	3.10m										
	架橋年次	1948年										
	(R2) 経過年数	76年										
153	橋梁名	向出橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120490			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	4.85m										
	架橋年次	1979年										
	(R2) 経過年数	45年										
154	橋梁名	東橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	下部工	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120500			損傷の種類	その他（はつり損傷）						BOX内部にはつり後の損傷箇所が2箇所ある。
	上部工形式	単純RC床版橋 +ボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	4.70m										
	架橋年次	1963年										
	(R2) 経過年数	61年										
155	橋梁名	二ツ屋4号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ(2)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206120510			損傷の種類	⑥鉄筋露出						床版の裏側に鉄筋の露出が見られる。修繕を要する。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	5.30m										
	架橋年次	1975年										
	(R2) 経過年数	49年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.32 定期点検結果一覧表 (32/65)























番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見																																																					
			橋 面	側 面																																																												
156 (R2)	橋梁名	ニツ屋 3 号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120520			損傷の種類	⑥鉄筋露出					床版の裏側に鉄筋露出が確認される。																																																					
	上部工形式	単純RC床版橋																																																														
	橋 長	3.00m																																																														
	幅 員	6.10m																																																														
	架橋年次	1975年																																																														
	経過年数	49年																																																														
157 (R2)	橋梁名	桑原 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120530			損傷の種類						特に問題なし。																																																					
	上部工形式	RCボックスカルバート																																																														
	橋 長	4.00m																																																														
	幅 員	14.40m																																																														
	架橋年次	1989年																																																														
	経過年数	35年																																																														
158 (R3)	橋梁名	桑原 2 号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120550			損傷の種類						特に問題なし。																																																					
	上部工形式	ボックスカルバート								※R5に旧橋からボックスカルバートへ架け替え更新とみられる。 ※左記の写真は架け替え前のもの																																																						
	橋 長	2.00m																																																														
	幅 員	7.30m																																																														
	架橋年次	2023年																																																														
	経過年数	1年																																																														
159 (R3)	橋梁名	河原 2 号橋	終点側から起点側を望む	下流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120570			損傷の種類						特になし。																																																					
	上部工形式	単純RC床版橋																																																														
	橋 長	2.00m																																																														
	幅 員	6.50m																																																														
	架橋年次	1975年																																																														
	経過年数	49年																																																														
160 (R3)	橋梁名	平松小橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	下部工	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】																																																				
	橋梁管理番号	17206120580			損傷の種類	その他（洗堀）					側壁複数の箇所では洗堀が見られるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。																																																					
	上部工形式	単純RC床版橋+RCボックスカルバート																																																														
	橋 長	3.00m																																																														
	幅 員	6.90m																																																														
	架橋年次	1971年																																																														
	経過年数	53年																																																														
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断													■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常													■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状													■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり													■①～⑭以外の損傷 その他												

表-参3.33 定期点検結果一覧表 (33/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
161 (R3)	橋梁名	河中橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120590			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	4.00m										
	架橋年次	1981年										
	経過年数	43年										
162 (R3)	橋梁名	大谷橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120600			損傷の種類							右岸橋台の下部に一部洗堀が認められる。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	4.70m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
163 (R3)	橋梁名	矢田野用水橋	終点側から起点側を望む		損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120610			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	8.95m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
164 (R3)	橋梁名	前中橋	起点側から終点側を望む		損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120620			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	7.00m										
	幅 員	9.30m										
	架橋年次	1994年										
	経過年数	30年										
165 (R5)	橋梁名	小宮橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120630			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.40m										
	幅 員	3.40m										
	架橋年次	1969年										
	経過年数	55年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 34 定期点検結果一覧表 (34/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
166 (R3)	橋梁名	鯉の橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120640			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	5.60m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
167 (R3)	橋梁名	須谷中橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120650			損傷の種類	その他（ずれ）						床版裏がズレているため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	4.50m										
	架橋年次	1952年										
	経過年数	72年										
168 (R3)	橋梁名	中谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120660			損傷の種類							上部・下部に剥離・遊離石灰がみられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	4.80m										
	架橋年次	1982年										
	経過年数	42年										
169 (R3)	橋梁名	尾保 1 号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120670			損傷の種類							橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。
	上部工形式	ボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	13.50m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										
170 (R3)	橋梁名	尾保 2 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120680			損傷の種類							橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。
	上部工形式	ボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	8.70m										
	架橋年次	1994年										
	経過年数	30年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断













■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.35 定期点検結果一覧表 (35/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
171	橋梁名	尾俣 3 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120690			損傷の種類							橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	8.50m										
	架橋年次	1974年										
	(R3) 経過年数	50年										
172	橋梁名	黒瀬橋	終点側から起点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120710			損傷の種類							橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.40m										
	幅 員	3.80m										
	架橋年次	1963年										
	(R3) 経過年数	61年										
173	橋梁名	市之瀬 3 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120720			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰					床版に遊離石灰がみられるが、部分的であり、耐力に影響はないと判断される	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	7.40m										
	架橋年次	1989年										
	(R3) 経過年数	35年										
174	橋梁名	黒瀬 1 号橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120730			損傷の種類	⑥鉄筋露出					主桁に剥離や鉄筋露出が見受けられる。	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	3.00m										
	架橋年次	1953年										
	(R3) 経過年数	71年										
175	橋梁名	黒瀬 2 号橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120740			損傷の種類						橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.50m										
	幅 員	3.00m										
	架橋年次	1963年										
	(R3) 経過年数	61年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断















■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 36 定期点検結果一覧表 (36/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
176 (R3)	橋梁名	須谷 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)	下部工	健全性：Ⅱ (3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120750			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				上部・下部に剥離・遊離石灰がみられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	3.50m										
	架橋年次	1952年										
	経過年数	72年										
177 (R3)	橋梁名	黒瀬 3 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120760			損傷の種類							橋梁耐力に関する損傷はみられず、健全であると判断される。 ※R3年に旧橋からボックスカルバートへ更新。
	上部工形式	ボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	2.30m										
	幅 員	3.00m										
	架橋年次	2021年										
	経過年数	3年										
178 (R4)	橋梁名	御水道 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120770			損傷の種類							橋梁耐力に関する損傷は見られず、健全であると判断される。
	上部工形式	ボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	4.00m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										
179 (R4)	橋梁名	横北 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120780			損傷の種類	⑥鉄筋露出						床版に剥離・鉄筋露出がみられ、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	7.60m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										
180 (R4)	橋梁名	二ツ屋 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120790			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						床版に遊離石灰が見られるが、橋梁の耐久性には影響がないものと判断される。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	7.70m										
	架橋年次	1975年										
	経過年数	49年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.37 定期点検結果一覧表 (37/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
181 (R4)	橋梁名	勅使 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206120800			損傷の種類	その他（剥離）						床版に剥離がみられるが、部分的であり、耐力に影響はないと判断される
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	7.60m										
	架橋年次	1975年										
	経過年数	49年										
182 (R4)	橋梁名	黒瀬 5 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120820			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	RCボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	5.10m										
	架橋年次	1991年										
	経過年数	33年										
183 (R2)	橋梁名	中橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206120830			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	4.55m										
	架橋年次	1967年										
	経過年数	57年										
184 (R5)	橋梁名	敷地第二跨線橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206430010			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑨PC定着部の異常		⑪支承の機能障害		支承のゴム材に亀裂が生じている。予防保全の観点から支承交換等の補修を行うことが望ましい。
	上部工形式	一般部：単純PCプレテンT桁橋 跨線部：単純プレビーム合成桁橋										
	橋 長	246.00m										
	幅 員	12.95m										
	架橋年次	1991年										
	経過年数	33年										
185 (R4)	橋梁名	八日市跨線橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	床版	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206430020			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	跨線部：単純PCプレテン中空床版橋 一般部：連続PCプレテンT桁橋										
	橋 長	167.00m										
	幅 員	11.05m										
	架橋年次	2003年										
	経過年数	21年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断



















■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.38 定期点検結果一覧表 (38/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況								所 見
			橋 面	側 面	損傷部位		主桁	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	
186 (R4)	橋梁名	中の島大橋			損傷部位			横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】 前回点検時からの損傷の進行が認められ、今後の部材劣化を予防する観点で補修が望ましい。	
	橋梁管理番号	17206130030			損傷の種類	①腐食		①腐食		①腐食			
	上部工形式	単純PCプレテンホロー桁＋単純鋼ワーレントラス桁橋											
	橋 長	118.00m											
	幅 員	8.80m											
	架橋年次	1981年											
	経過年数	43年											
187 (R4)	橋梁名	新梶井橋歩道橋			損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】 軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。	
	橋梁管理番号	17206130040			損傷の種類								
	上部工形式	4径間単純PCプレテンT桁橋											
	橋 長	91.00m											
	幅 員	4.30m											
	架橋年次	1997年											
	経過年数	27年											
188 (R4)	橋梁名	新梶井橋			損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】 主桁にASRの疑いがある軸方向のひびわれが見られる。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。	
	橋梁管理番号	17206130050			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰							
	上部工形式	4径間単純PCプレテンT桁橋											
	橋 長	91.00m											
	幅 員	8.80m											
	架橋年次	1976年											
	経過年数	48年											
189 (R4)	橋梁名	葦切橋			損傷部位	路面	健全性：Ⅱ(3)	路面	健全性：Ⅱ(3)	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】 損傷は軽微であるため、経過観察とする。ただし、路面および高欄の損傷については補修が望ましい。	
	橋梁管理番号	17206130060			損傷の種類	⑩路面の凹凸		⑩路面の凹凸		その他（変形）			
	上部工形式	3径間単純PCプレテンT桁橋											
	橋 長	75.00m											
	幅 員	13.00m											
	架橋年次	2007年											
	経過年数	17年											
190 (R4)	橋梁名	上河崎橋			損傷部位	床版	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】 床版に漏水・遊離石灰を伴うひびわれがみられる。予防保全の観点から補修等を行うことが望ましい。	
	橋梁管理番号	17206130080			損傷の種類	⑧床版ひびわれ							
	上部工形式	2径間連続鋼非合成版桁橋(耐候性鋼材)											
	橋 長	60.50m											
	幅 員	10.75m											
	架橋年次	1990年											
	経過年数	34年											

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.39 定期点検結果一覧表 (39/65)













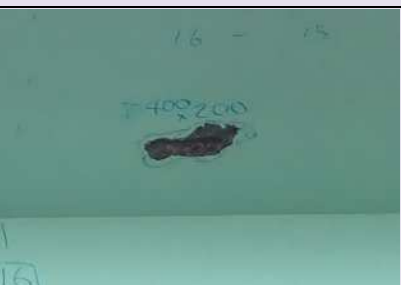



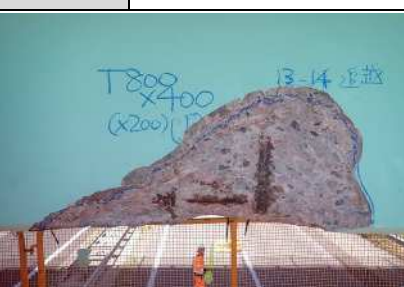
















番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
191	橋梁名	下河崎橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	路面	健全性：Ⅱ(3)	路面	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130090			損傷の種類	⑩路面の凹凸		⑩路面の凹凸				路面に凹凸が見られる。状況に応じて対策を講ずることが望ましい。
	上部工形式	2径間単純PCプレテン中空床版橋										
	橋 長	50.60m										
	幅 員	16.80m										
	架橋年次	2002年										
	(R5)	経過年数	22年									
192	橋梁名	毛合橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206131040			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						横桁と路面にひびわれが生じている。予防保全の観点から補修を行うことが望ましい。 ※R1に旧橋より更新
	上部工形式	2径間連結PCポステンT桁橋										
	橋 長	60.80m										
	幅 員	6.20m										
	架橋年次	2019年										
	(R5)	経過年数	5年									
193	橋梁名	樋ノ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130110			損傷の種類							軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	3径間連結PCプレテンT桁橋										
	橋 長	75.00m										
	幅 員	6.20m										
	架橋年次	2016年										
	(R5)	経過年数	8年									
194	橋梁名	伊切橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130120			損傷の種類	その他（うき）		⑥鉄筋露出		その他（うき）		コンクリート部材の断面修復と剥落対策および防護柵取替を早期に行い、第三者被害対策が必要である。 ※R6補修（剥落防止工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	3径間連続斜材付PCπスラブラーメン橋										
	橋 長	43.20m										
	幅 員	6.50m										
	架橋年次	1973年										
	(R5)	経過年数	51年									
195	橋梁名	新保橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206430130			損傷の種類	⑥鉄筋露出		その他（うき）		その他（うき）		上部工・橋脚にうきがみられる。断面修復と剥落対策の補修を早期に行い第三者被害対策が必要である。 ※R6補修（剥落防止工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	3径間連続斜材付PCπスラブラーメン橋										
	橋 長	43.20m										
	幅 員	6.50m										
	架橋年次	1973年										
	(R5)	経過年数	51年									
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断												
■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常												
■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状												
■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり												
■①～⑭以外の損傷 その他												

表-参3. 40 定期点検結果一覧表 (40/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見												
			橋 面	側 面																			
196 (R3)	橋梁名	中島大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】											
	橋梁管理番号	17206130140			損傷の種類							直ちに橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないため、次回点検まで経過観察が望ましい。											
	上部工形式	3径間連結PCプレテン変断面T桁橋																					
	橋 長	73.60m																					
	幅 員	6.20m																					
	架橋年次	2011年																					
	経過年数	13年																					
197 (R3)	橋梁名	猫橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】											
	橋梁管理番号	17206130150			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰			橋台・橋脚にひびわれが認められる。対策を検討することが望ましい。													
	上部工形式	3径間単純PCプレテンI桁橋																					
	橋 長	38.60m																					
	幅 員	6.50m																					
	架橋年次	1955年																					
	経過年数	69年																					
198 (R3)	橋梁名	白水橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】											
	橋梁管理番号	17206130160			損傷の種類							直ちに橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないため、次回点検まで経過観察が望ましい。											
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋																					
	橋 長	35.90m																					
	幅 員	11.25m																					
	架橋年次	2004年																					
	経過年数	20年																					
199 (R4)	橋梁名	湖南橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	路面	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】											
	橋梁管理番号	17206130170			損傷の種類	⑩路面の凹凸					前回点検時からの著しい損傷の進行は確認されず、道路橋の機能に支障が生じていない状態である。												
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋																					
	橋 長	33.00m																					
	幅 員	9.80m																					
	架橋年次	1987年																					
	経過年数	37年																					
200 (R5)	橋梁名	鴻之森橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】											
	橋梁管理番号	17206131050			損傷の種類						直ちに橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないため、次回点検まで経過観察が望ましい。 ※R3に旧橋より更新												
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋																					
	橋 長	38.60m																					
	幅 員	10.80m																					
	架橋年次	2021年																					
	経過年数	3年																					
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断													■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常			■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状			■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり			■①～⑭以外の損傷 その他	

表-参3. 41 定期点検結果一覧表 (41/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
201	橋梁名	八日市橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130190			損傷の種類	①腐食						橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないが、防護柵に腐食、落書きが認められるため、対策を検討することが望ましい。
	上部工形式	6径間単純PC π スラブ橋										
	橋 長	31.10m										
	幅 員	7.00m										
	架橋年次	1980年										
	(R3) 経過年数	44年										
202	橋梁名	鴨橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130200			損傷の種類							
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋										
	橋 長	26.00m										
	幅 員	9.20m										
	架橋年次	1992年										
	(R3) 経過年数	32年										
203	橋梁名	今川橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ(2)	床版	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅲ(2)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206130220			損傷の種類	①腐食		⑥鉄筋露出		⑪支承の機能障害		主桁に板厚減少を伴う腐食、支承に機能障害が認められる。早期に対策を講じることが望ましい。
	上部工形式	2径間単純鋼非合成H形橋										
	橋 長	23.30m										
	幅 員	4.50m										
	架橋年次	1966年										
	(R3) 経過年数	58年										
204	橋梁名	吉角橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206131060			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。 ※R3に旧橋より更新
	上部工形式	単純PCポステンT桁橋										
	橋 長	26.50m										
	幅 員	6.80m										
	架橋年次	2021年										
	(R5) 経過年数	3年										
205	橋梁名	穂の宮橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206131070			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。 ※R4に旧橋より更新
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	26.50m										
	幅 員	5.20m										
	架橋年次	2022年										
	(R5) 経過年数	2年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 42 定期点検結果一覧表 (42/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面	損傷部位		主桁	健全性：Ⅱ (3)	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ (3)	排水施設	
206 (R3)	橋梁名	柴山橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】 橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないが、防護柵、排水管に腐食が認められるため、対策を検討することが望ましい。
	橋梁管理番号	17206130250			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		①腐食		①腐食		
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	18.00m										
	幅 員	10.20m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
207 (R4)	橋梁名	泉橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】 前回点検時からの著しい進行は認められないものの、主桁の損傷が著しく早期の補修が望ましい。 ※R6に補修（塗装塗替工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	橋梁管理番号	17206130260			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ		⑪支承の機能障害		
	上部工形式	単純鋼H形橋										
	橋 長	18.00m										
	幅 員	8.80m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
208 (R3)	橋梁名	尾俣川橋歩道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】 直ちに橋梁本体の機能に影響を及ぼす変状は認められないため、次回点検まで経過観察が望ましい。
	橋梁管理番号	17206130270			損傷の種類							
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋										
	橋 長	16.20m										
	幅 員	3.90m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
209 (R4)	橋梁名	梶井 2 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】 軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	橋梁管理番号	17206130280			損傷の種類							
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	15.68m										
	幅 員	9.00m										
	架橋年次	1976年										
	経過年数	48年										
210 (R3)	橋梁名	尾俣川橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】 主桁に腐食、伸縮装置に遊間の異常、排水管、添架物に腐食が認められる。対策を検討することが望ましい。
	橋梁管理番号	17206130290			損傷の種類	①腐食		⑪支承の機能障害		⑬遊間の異常		
	上部工形式	単純鋼非合成H形橋										
	橋 長	15.65m										
	幅 員	10.05m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断												
■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常												
■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状												
■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり												
■①～⑭以外の損傷 その他												

表-参3.43 定期点検結果一覧表 (43/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
211 (R4)	橋梁名	梶井 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130300			損傷の種類						軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。	
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	13.50m										
	幅 員	9.10m										
	架橋年次	1976年										
	経過年数	48年										
212 (R2)	橋梁名	新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130310			損傷の種類						各部材に見られる変状は軽微で構造機能に支障は生じていない。点検記録を継続する。	
	上部工形式	単純鋼H形橋										
	橋 長	12.71m										
	幅 員	6.10m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
213 (R3)	橋梁名	加茂 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ (3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130320			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	①腐食			防護柵に腐食が認められる。対策を検討することが望ましい。		
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	12.10m										
	幅 員	6.70m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
214 (R2)	橋梁名	加茂 8 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)	床版	健全性：Ⅱ (3)	高欄・防護柵	健全性：Ⅲ (2)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130330			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	破断		主桁下面にASRによるものと推測されるひびわれが見られる。経過観察注意深くを行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。		
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	12.10m										
	幅 員	6.70m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
215 (R3)	橋梁名	稲倉橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130340			損傷の種類						主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	11.40m										
	幅 員	10.75m										
	架橋年次	1986年										
	経過年数	38年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断



















■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.44 定期点検結果一覧表 (44/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
216 (R3)	橋梁名	西出橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130350			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						主桁にひびわれが認められるが、橋梁への影響は小さいため経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	7.30m										
	幅 員	6.50m										
	架橋年次	1975年										
	経過年数	49年										
217 (R3)	橋梁名	市ノ瀬4号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130370			損傷の種類							主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	6.20m										
	幅 員	10.60m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										
218 (R3)	橋梁名	湖月橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ(2)	横桁・対傾構	健全性：Ⅲ(2)	床版	健全性：Ⅲ(2)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206130380			損傷の種類	①腐食		①腐食		①腐食		主桁、横桁、床版に板厚減少を伴う腐食が認められる。早期に対策を講じることが望ましい。
	上部工形式	既設：単純鋼H形橋 拡幅：単純RC床版橋										
	橋 長	6.80m										
	幅 員	11.48m										
	架橋年次	1979年										
	経過年数	45年										
219 (R3)	橋梁名	天神橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ(2)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206130390			損傷の種類	⑥鉄筋露出		①腐食		⑥鉄筋露出		主桁に鉄筋露出が認められる。早期に対策を講じることが望ましい。
	上部工形式	単純RCT桁橋+H形橋										
	橋 長	6.40m										
	幅 員	3.90m										
	架橋年次	1926年										
	経過年数	98年										
220 (R3)	橋梁名	中の島橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130400			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						主桁にひびわれが認められるが、橋梁への影響は小さいため経過観察が望ましい。
	上部工形式	既設：単純PCプレテン床版橋 拡幅：複合門形ラーメン橋（イージーラーメン橋）										
	橋 長	6.03m										
	幅 員	16.85m										
	架橋年次	1978年										
	経過年数	46年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断














■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 45 定期点検結果一覧表 (45/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
221 (R4)	橋梁名	梶井2号橋（歩道）	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130440			損傷の種類							軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	11.75m										
	幅 員	4.30m										
	架橋年次	1997年										
	経過年数	27年										
222 (R4)	橋梁名	梶井1号橋（歩道）	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130450			損傷の種類							軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	9.90m										
	幅 員	4.30m										
	架橋年次	1997年										
	経過年数	27年										
223 (R3)	橋梁名	すじかい橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ(2)	下部工	健全性：Ⅱ(3)	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206130470			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出		①腐食		頂版に鉄筋露出が認められる。早期に対策を講じることが望ましい。
	上部工形式	2連RCボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	4.90m										
	幅 員	8.44m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
224 (R4)	橋梁名	西島2号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130480			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	8.10m										
	架橋年次	1963年										
	経過年数	61年										
225 (R5)	橋梁名	西島3号橋	終点側から起点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130490			損傷の種類							橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	5.30m										
	架橋年次	1963年										
	経過年数	61年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

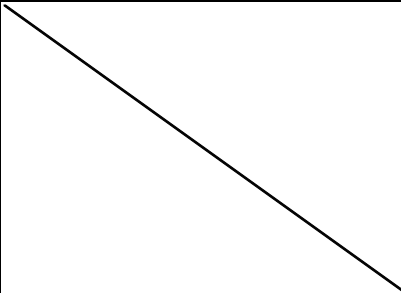



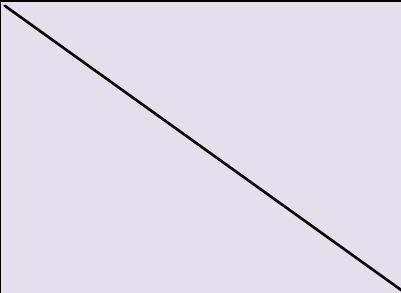



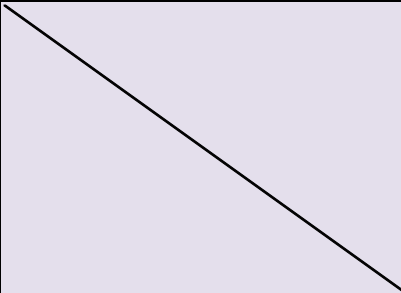



■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.46 定期点検結果一覧表 (46/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
226 (R4)	橋梁名	西島 1 号橋			損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)	下部工	健全性：Ⅱ (3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130520			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出				床版裏や側壁に鉄筋露出が見られるが、局所的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。 (橋面写真なし)
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	7.20m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
227 (R5)	橋梁名	消防橋			損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130530			損傷の種類							橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。 (橋面写真なし)
	上部工形式	RCボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	15.05m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
228 (R4)	橋梁名	欽崎橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130540			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	ボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	6.10m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										
229 (R5)	橋梁名	動橋 2 号橋					損傷部位					
	橋梁管理番号	17206130560	損傷の種類								特になし。 (橋面写真なし)	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	13.65m										
	架橋年次	1979年										
	経過年数	45年										
230 (R3)	橋梁名	塩浜 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130570			損傷の種類							主要部材に確認できる変状はいずれも軽微である。経過観察が望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.72m										
	幅 員	5.62m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断













■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 47 定期点検結果一覧表 (47/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
231 (R3)	橋梁名	上河崎 6 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130580			損傷の種類	⑥鉄筋露出					主桁に鉄筋露出が見られる。補修検討が望ましい。	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.90m										
	幅 員	6.65m										
	架橋年次	1963年										
	経過年数	61年										
232 (R5)	橋梁名	大菅波 2 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130590			損傷の種類						橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。	
	上部工形式	PCボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	2.30m										
	幅 員	5.98m										
	架橋年次	1980年										
	経過年数	44年										
233 (R5)	橋梁名	昭北1号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130600			損傷の種類						損傷・劣化は軽微で、概ね健全である。	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.55m										
	幅 員	6.00m										
	架橋年次	1994年										
	経過年数	30年										
234 (R4)	橋梁名	千原橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130610			損傷の種類						軽微な損傷が確認できるが、構造物に支障は生じていない。経過観察とする。	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	5.20m										
	幅 員	4.65m										
	架橋年次	1973年										
	経過年数	51年										
235 (R4)	橋梁名	小塩辻 1 号跨道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130620			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰					前回点検時からの著しい進行は認められない。	
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	6.20m										
	幅 員	16.50m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 48 定期点検結果一覧表 (48/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
236 (R4)	橋梁名	伊切農道BOX	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	路面	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130630			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑩路面の凹凸			前回点検時からの著しい損傷の進行は認められない。		
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	6.90m										
	幅 員	10.50m										
	架橋年次	2013年										
	経過年数	11年										
237 (R4)	橋梁名	木戸浦橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130640			損傷の種類						前回点検時からの進行は認められず、いずれの損傷も軽微である。	
	上部工形式	単純PCプレテン床版橋										
	橋 長	12.90m										
	幅 員	7.70m										
	架橋年次	1998年										
	経過年数	26年										
238 (R5)	橋梁名	南橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130650			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑧床版ひびわれ		予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	上部工形式	単純鋼H形橋										
	橋 長	13.00m										
	幅 員	2.40m										
	架橋年次	1969年										
	経過年数	55年										
239 (R4)	橋梁名	中島橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130660			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰			床版に縦断方向のひびわれが見られるが、局所的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。	
	上部工形式	ボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	9.80m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										
240 (R4)	橋梁名	梯谷橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130670			損傷の種類						特になし。	
	上部工形式	ボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	5.40m										
	架橋年次	2002年										
	経過年数	22年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断






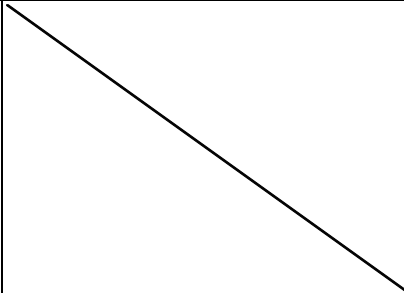






■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 49 定期点検結果一覧表 (49/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
241 (R4)	橋梁名	上河崎 1 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130680			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	11.20m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
242 (R4)	橋梁名	上河崎 3 号橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130690			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	ボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	5.20m										
	架橋年次	1994年										
	経過年数	30年										
243 (R4)	橋梁名	富塚橋	終点側から起点側を望む		損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)	下部工	健全性：Ⅱ (3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130700			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				床版にひびわれが見られるが、局所的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。（側面写真なし）	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	4.00m										
	架橋年次	1953年										
	経過年数	71年										
244 (R4)	橋梁名	那谷道橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130730			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	5.60m										
	架橋年次	1990年										
	経過年数	34年										
245 (R4)	橋梁名	学校橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130740			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋+ボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	6.50m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 50 定期点検結果一覧表 (50/65)







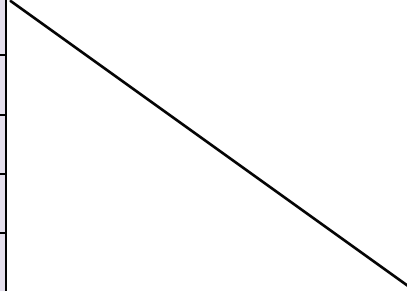


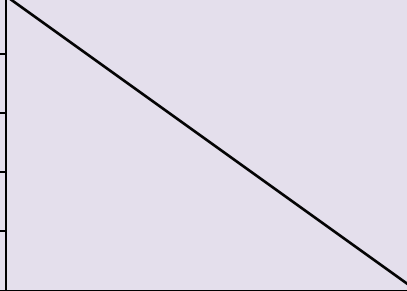






番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
246	橋梁名	神社橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130760			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	2.90m										
	架橋年次	1952年										
	経過年数	72年										
(R4)												
247	橋梁名	三面谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130780			損傷の種類	その他（欠損）		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰				下部工の側壁に係るひび割れと共に、上部工の桁部分の断面減少が見られる。早急な対応は必要ないが、要経過観察。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	3.10m										
	架橋年次	1953年										
	経過年数	71年										
(R4)												
248	橋梁名	参宮橋		上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130820			損傷の種類	その他（剥離）						床版裏に剥離が見られるか、局所的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。（橋面写真なし）
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	5.40m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
(R4)												
249	橋梁名	中川橋		上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	主桁	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130830			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		その他（うき）				床版裏に鉄筋露出や浮きが見られるが、局所的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。（橋面写真なし）
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	5.20m										
	架橋年次	1953年										
	経過年数	71年										
(R4)												
250	橋梁名	上河崎4号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130840			損傷の種類	その他（うき・剥離）						床版裏に浮きや剥離が広範囲で見られるため、予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	5.50m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
(R4)												
<div>■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断</div> <div>■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常</div> <div>■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状</div> <div>■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり</div> <div>■①～⑬以外の損傷 その他</div>												

表-参3. 51 定期点検結果一覧表 (51/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
251 (R4)	橋梁名	合河橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130850			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	2.40m										
	幅 員	11.80m										
	架橋年次	1990年										
	経過年数	34年										
252 (R4)	橋梁名	野田 1 号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130860			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.40m										
	幅 員	5.10m										
	架橋年次	1982年										
	経過年数	42年										
253 (R4)	橋梁名	西島 4 号橋		上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130870			損傷の種類	その他（うき）						床版裏に浮きや剥離が見られるが、局所的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。（橋面写真なし）
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	5.05m										
	架橋年次	1972年										
	経過年数	52年										
254 (R5)	橋梁名	獅子ヶ鼻橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130880			損傷の種類	高欄の損傷						橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	RCボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	2.90m										
	幅 員	27.00m										
	架橋年次	1984年										
	経過年数	40年										
255 (R5)	橋梁名	加茂 7 号橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130890			損傷の種類	⑥鉄筋露出						床版裏に鉄筋剥き出しが見られるが、局所的であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。（損傷写真が1巡目と2巡目で同一）
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	5.00m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

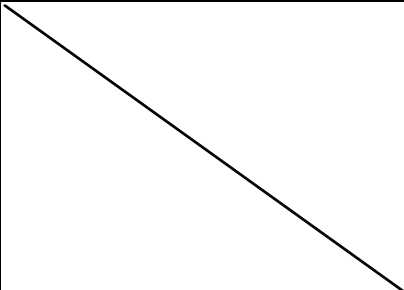




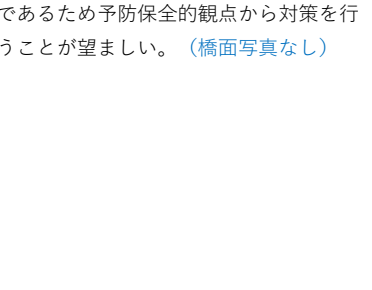




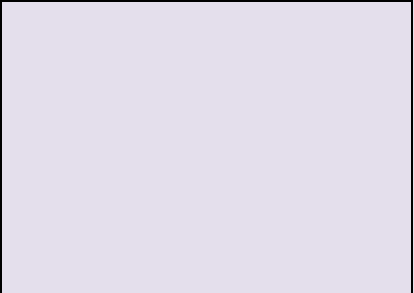
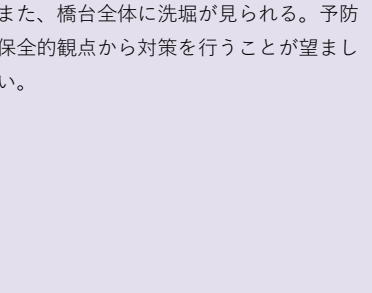





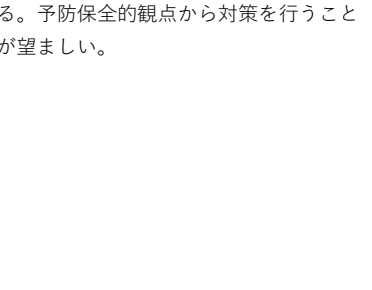


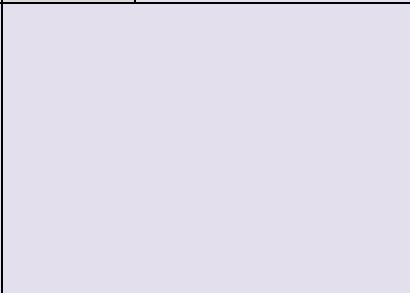
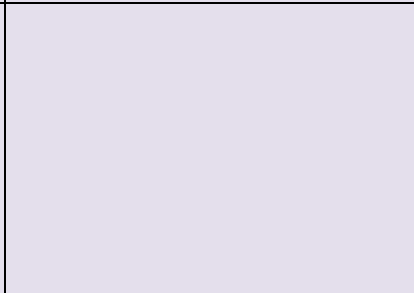
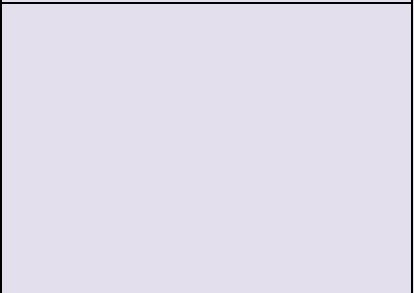



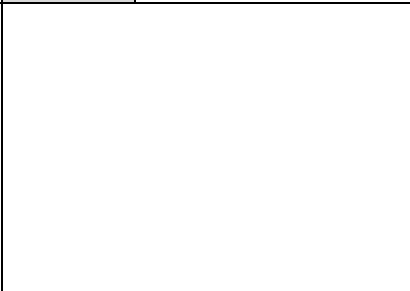
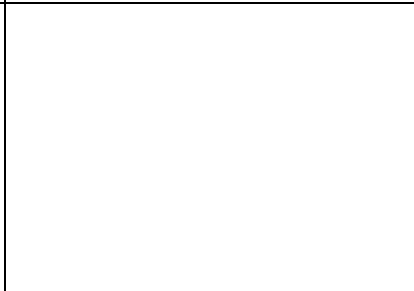
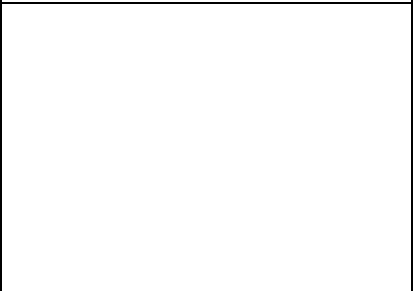

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.52 定期点検結果一覧表 (52/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
256 (R5)	橋梁名	動橋 1 号橋			損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ (3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130910			損傷の種類	その他（剥離）						床版に剥離が見られるが、局部的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。（橋面写真なし）
	上部工形式	PCボックスカルバート										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	5.50m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
257 (R5)	橋梁名	潮津西橋			損傷部位	床版	健全性：Ⅱ (3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130940			損傷の種類	⑥鉄筋露出						床版裏に鉄筋露出が局所的に見られる。また、橋台全体に洗掘が見られる。予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	6.60m										
	架橋年次	1952年										
	経過年数	72年										
258 (R5)	橋梁名	第二猫橋			損傷部位	床版	健全性：Ⅱ (3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206130950			損傷の種類	⑥鉄筋露出						床版裏に鉄筋剥き出しが局所的に見られる。予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	6.70m										
	架橋年次	1955年										
	経過年数	69年										
259 (R4)	橋梁名	瑞穂橋			損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130960			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.40m										
	幅 員	6.80m										
	架橋年次	1990年										
	経過年数	34年										
260 (R4)	橋梁名	庄橋			損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130970			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.60m										
	幅 員	6.40m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断












■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.53 定期点検結果一覧表 (53/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
261 (R4)	橋梁名	西島 5 号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130980			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	4.90m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
262 (R4)	橋梁名	西島 6 号橋	終点側から起点側を望む	下流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206130990			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	4.70m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
263 (R4)	橋梁名	新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206131000			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	RCボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	11.30m										
	架橋年次	1989年										
	経過年数	35年										
264 (R4)	橋梁名	富塚1号橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206131010			損傷の種類							特になし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	2.00m										
	幅 員	6.40m										
	架橋年次	1979年										
	経過年数	45年										
265 (R4)	橋梁名	吉江橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	下部工	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206131020			損傷の種類	洗掘						側壁部にて全体的に洗掘が見られる。対策を行うことが望ましい。
	上部工形式	RCボックスカルバート(Pre)										
	橋 長	3.00m										
	幅 員	13.40m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断


















■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.54 定期点検結果一覧表 (54/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況								所 見
			橋 面	側 面									
266 (R5)	橋梁名	日置大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】	
	橋梁管理番号	17206140010			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑥鉄筋露出	⑧床版ひびわれ	道路橋の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。				
	上部工形式	4径間連続PCポステン有ヒンジラーメン桁橋											
	橋 長	253.00m											
	幅 員	5.20m											
	架橋年次	1992年											
	経過年数	32年											
267 (R5)	橋梁名	宮の杜大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】	
	橋梁管理番号	17206140020			損傷の種類						損傷は軽微であり、定期点検にて経過観察が望ましい。		
	上部工形式	上路式5径間連続RCアーチ橋											
	橋 長	209.00m											
	幅 員	12.80m											
	架橋年次	2002年											
	経過年数	22年											
268 (R3)	橋梁名	高瀬大橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	床版	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】	
	橋梁管理番号	17206140030			損傷の種類	⑧床版ひびわれ					予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。		
	上部工形式	3径間連続鋼鈑桁橋											
	橋 長	98.00m											
	幅 員	8.20m											
	架橋年次	1967年											
	経過年数	57年											
269 (R5)	橋梁名	平岩橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅲ(2)	支承	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】	
	橋梁管理番号	17206140040			損傷の種類	①腐食	①腐食	①支承の機能障害	横桁に板厚減少を伴う腐食が認められる。早期に対策を講ずべき状態である。				
	上部工形式	上路式3径間連続鋼アーチ橋											
	橋 長	75.90m											
	幅 員	9.80m											
	架橋年次	1975年											
	経過年数	49年											
270 (R5)	橋梁名	阿蘇橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】	
	橋梁管理番号	17206140050			損傷の種類						道路橋の機能に支障が生じていないため、経過観察を行うことが望ましい。		
	上部工形式	3径間単純PCプレテンT桁橋											
	橋 長	60.00m											
	幅 員	5.20m											
	架橋年次	1993年											
	経過年数	31年											

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断




















■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑬以外の損傷
その他

表-参3. 55 定期点検結果一覧表 (55/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
271 (R4)	橋梁名	阿蘇橋（歩）	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	床版	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140060			損傷の種類	⑧床版ひびわれ					道路橋の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	
	上部工形式	3径間単純PCボステンT桁橋										
	橋 長	60.00m										
	幅 員	3.10m										
	架橋年次	1963年										
	経過年数	61年										
272 (R4)	橋梁名	もみじ谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140070			損傷の種類						主要部材に見られる変状は軽微で構造機能に支障は生じていない。	
	上部工形式	単純鋼非合成鉄桁橋(耐候性鋼材)										
	橋 長	45.00m										
	幅 員	12.00m										
	架橋年次	2000年										
	経過年数	24年										
273 (R5)	橋梁名	黒谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅲ(2)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206140080			損傷の種類	その他（補強材の損傷）		その他（補強材の損傷・剥離）		⑪支承の機能障害		構造物の機能に支障が生じる可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態。
	上部工形式	単純RCT桁橋+単純RCアーチ橋										
	橋 長	35.10m										
	幅 員	4.98m										
	架橋年次	1935年										
	経過年数	89年										
274 (R5)	橋梁名	二天橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140090			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑪支承の機能障害		構造物の機能に支障が生じる可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態。 ※R6補修（塗装塗替工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純鋼トラス橋										
	橋 長	27.80m										
	幅 員	4.80m										
	架橋年次	1931年										
	経過年数	93年										
275 (R4)	橋梁名	落合橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140100			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ				道路橋の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	上部工形式	単純鋼鉄桁橋										
	橋 長	27.00m										
	幅 員	6.00m										
	架橋年次	1977年										
	経過年数	47年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 56 定期点検結果一覧表 (56/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
276 (R4)	橋梁名	加美谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140110			損傷の種類	⑨PC定着部の異常					構造物の機能に支障は生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	25.00m										
	幅 員	12.80m										
	架橋年次	1983年										
	経過年数	41年										
277 (R4)	橋梁名	風吹橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	横桁・対傾構	健全性：Ⅲ(2)	床版	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206140120			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ				道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態。
	上部工形式	単純鋼鈑桁橋										
	橋 長	25.00m										
	幅 員	4.70m										
	架橋年次	1970年										
	経過年数	54年										
278 (R4)	橋梁名	鶴ヶ滝橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	排水施設	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140130			損傷の種類	破断					主要部材に支障はないが、その他部材に 機能に支障が生じる可能性があり、早期 に措置を講ずる必要がある。	
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	25.00m										
	幅 員	8.20m										
	架橋年次	2002年										
	経過年数	22年										
279 (R5)	橋梁名	尻高橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140140			損傷の種類						道路橋の機能に支障が生じていないた め、経過観察を行うことが望ましい。	
	上部工形式	単純鋼鈑桁橋										
	橋 長	22.00m										
	幅 員	6.30m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										
280 (R5)	橋梁名	こおろぎ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140150			損傷の種類						軽微な損傷が生じている。経過観察とする。 ※R1に旧橋より更新	
	上部工形式	木造複方杖橋（木橋）										
	橋 長	20.80m										
	幅 員	4.00m										
	架橋年次	2019年										
	経過年数	5年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断























■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.57 定期点検結果一覧表 (57/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
281	橋梁名	兵太郎橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)			道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140161			損傷の種類	その他（うき）		その他（うき）				RC橋の主桁、床版に確認されるうきは再劣化が認められる。経過観察を行いつつ予防保全措置を講ずるのが望ましい。
	上部工形式	単純RCT桁橋+単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	19.95m										
	幅 員	7.95m										
	架橋年次	1957年										
	(R2)	経過年数	67年									
282	橋梁名	中津原橋(上り)	起点側から終点側を望む	下流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140171			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑧床版ひびわれ		構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずる必要がある。 ※R4補修（塗装塗替工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純鋼鈑桁橋										
	橋 長	19.60m										
	幅 員	4.10m										
	架橋年次	1953年										
	(R4)	経過年数	71年									
283	橋梁名	中津原橋(下り)	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140172			損傷の種類	①腐食		⑧床版ひびわれ		⑪支承の機能障害		構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずる必要がある。 ※R4補修（塗装塗替工）施工済 ※左記3枚は補修前の写真を示す
	上部工形式	単純鋼鈑桁橋										
	橋 長	19.60m										
	幅 員	4.10m										
	架橋年次	1983年										
	(R4)	経過年数	41年									
284	橋梁名	一の瀬橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	主桁	健全性：Ⅱ(3)	支承	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140180			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰		⑪支承の機能障害		道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RCT桁橋+単純RC床版橋										
	橋 長	18.60m										
	幅 員	4.20m										
	架橋年次	1959年										
	(R5)	経過年数	65年									
285	橋梁名	太刀橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140190			損傷の種類	⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰						構造物の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋+単純RCT桁橋+単純RC床版橋										
	橋 長	18.30m										
	幅 員	4.20m										
	架橋年次	1960年										
	(R4)	経過年数	64年									

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.58 定期点検結果一覧表 (58/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
286 (R4)	橋梁名	くず谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：Ⅲ(2)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140200			損傷の種類	②亀裂						主要部材に支障はないが、その他部材に機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずる必要がある。
	上部工形式	単純RC床版橋 + 単純PCプレテン中空床版橋 + 単純RC床版橋										
	橋 長	17.60m										
	幅 員	6.50m										
	架橋年次	1969年										
	経過年数	55年										
287 (R2)	橋梁名	市の谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	横桁・対傾構	健全性：Ⅱ(3)	下部工	健全性：Ⅲ(2)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206140210			損傷の種類	①腐食		①腐食		⑫下部工の変状（洗掘）		A2t橋台基部に洗掘が見られる。早期に対策を検討する必要がある。
	上部工形式	単純鋼非合成H形橋（木製床版）										
	橋 長	17.20m										
	幅 員	2.50m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
288 (R3)	橋梁名	おそげ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140220			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	17.00m										
	幅 員	6.00m										
	架橋年次	1988年										
	経過年数	36年										
289 (R4)	橋梁名	鳥越橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140230			損傷の種類							道路橋の機能に支障が生じていない状態。
	上部工形式	イージスラブ橋										
	橋 長	16.60m										
	幅 員	5.20m										
	架橋年次	2005年										
	経過年数	19年										
290 (R5)	橋梁名	飛越橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)	主桁	健全性：Ⅱ(3)	床版	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140240			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出		道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
	上部工形式	単純RCT桁橋										
	橋 長	14.10m										
	幅 員	4.20m										
	架橋年次	1961年										
	経過年数	63年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3.59 定期点検結果一覧表 (59/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
291 (R3)	橋梁名	上谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	床版	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140250			損傷の種類	⑧床版ひびわれ						予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	上部工形式	単純PCプレテン中空床版橋										
	橋 長	13.00m										
	幅 員	3.10m										
	架橋年次	1972年										
	経過年数	52年										
292 (R3)	橋梁名	真中橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140260			損傷の種類	⑥鉄筋露出						予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	上部工形式	単純RCT桁橋										
	橋 長	12.20m										
	幅 員	3.60m										
	架橋年次	1964年										
	経過年数	60年										
293 (R3)	橋梁名	高橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140270			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	10.40m										
	幅 員	4.30m										
	架橋年次	1968年										
	経過年数	56年										
294 (R3)	橋梁名	鶴見橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140280			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	2径間連続RC床版橋										
	橋 長	10.20m										
	幅 員	2.50m										
	架橋年次	1958年										
	経過年数	66年										
295 (R3)	橋梁名	新橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140290			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純RCT桁橋										
	橋 長	9.00m										
	幅 員	4.30m										
	架橋年次	1947年										
	経過年数	77年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状















■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 60 定期点検結果一覧表 (60/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見																																																					
			橋 面	側 面																																																												
296	橋梁名	二天小橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	高欄・防護柵	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206140300			損傷の種類	その他（変形）						主要部材に目立った損傷は確認できない為、健全性Ⅰとした。																																																				
	上部工形式	RCボックスカルバート																																																														
	橋 長	3.90m																																																														
	幅 員	6.60m																																																														
	架橋年次	1980年																																																														
	(R3) 経過年数	44年																																																														
297	橋梁名	滝の上橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206140310			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。																																																				
	上部工形式	2径間単純RC床版橋																																																														
	橋 長	7.30m																																																														
	幅 員	3.50m																																																														
	架橋年次	1966年																																																														
	(R3) 経過年数	58年																																																														
298	橋梁名	風吹渡橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206140320			損傷の種類																																																											
	上部工形式	2径間単純RC床版橋																																																														
	橋 長	7.30m																																																														
	幅 員	3.60m																																																														
	架橋年次	1962年																																																														
	(R3) 経過年数	62年																																																														
299	橋梁名	宮前橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ(2)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】																																																				
	橋梁管理番号	17206140330			損傷の種類	⑥鉄筋露出						構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。																																																				
	上部工形式	単純RCT桁橋																																																														
	橋 長	6.80m																																																														
	幅 員	4.30m																																																														
	架橋年次	1968年																																																														
	(R3) 経過年数	56年																																																														
300	橋梁名	おちゃぶち橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206140340			損傷の種類							主要部材に見られる変状は軽微で構造機能に支障は生じていない。																																																				
	上部工形式	単純RCT桁橋																																																														
	橋 長	6.30m																																																														
	幅 員	3.40m																																																														
	架橋年次	1981年																																																														
	(R4) 経過年数	43年																																																														
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断													■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常													■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状													■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり													■①～⑭以外の損傷 その他												

表-参3. 61 定期点検結果一覧表 (61/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況							所 見
			橋 面	側 面								
301 (R4)	橋梁名	白馬谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】
	橋梁管理番号	17206140350			損傷の種類	⑥鉄筋露出					構造物の機能に支障は生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	6.00m										
	幅 員	3.30m										
	架橋年次	1969年										
	経過年数	55年										
302 (R4)	橋梁名	岩吹橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅲ(2)	横桁・対傾構	健全性：Ⅲ(2)	床版	健全性：Ⅱ(3)	道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅲ】
	橋梁管理番号	17206140370			損傷の種類	⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出		⑥鉄筋露出		道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態。
	上部工形式	単純RCT桁橋										
	橋 長	5.00m										
	幅 員	4.00m										
	架橋年次	1959年										
	経過年数	65年										
303 (R3)	橋梁名	南谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140380			損傷の種類						損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。	
	上部工形式	2径間単純鋼H形橋										
	橋 長	12.00m										
	幅 員	4.00m										
	架橋年次	1996年										
	経過年数	28年										
304 (R5)	橋梁名	阿曾ノ谷橋	起点側から終点側を望む	下流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140390			損傷の種類						道路橋の機能に支障が生じていないため、経過観察を行うことが望ましい。	
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	6.40m										
	幅 員	6.70m										
	架橋年次	1997年										
	経過年数	27年										
305 (R4)	橋梁名	連岳橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140400			損傷の種類						道路橋の機能に支障が生じていない状態。	
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	5.20m										
	幅 員	4.00m										
	架橋年次	1997年										
	経過年数	27年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 62 定期点検結果一覧表 (62/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
306 (R4)	橋梁名	枯測橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140410			損傷の種類							道路橋の機能に支障が生じていない状態。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	5.00m										
	幅 員	5.40m										
	架橋年次	1993年										
	経過年数	31年										
307 (R3)	橋梁名	大平橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140430			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純PCプレテンI桁橋										
	橋 長	11.50m										
	幅 員	8.40m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										
308 (R3)	橋梁名	覗橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140440			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	12.30m										
	幅 員	7.10m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										
309 (R5)	橋梁名	焼溝橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140450			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.80m										
	幅 員	3.40m										
	架橋年次	1971年										
	経過年数	53年										
310 (R4)	橋梁名	一瀬橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140460			損傷の種類							道路橋の機能に支障が生じていない状態。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	5.30m										
	幅 員	7.50m										
	架橋年次	1993年										
	経過年数	31年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 63 定期点検結果一覧表 (63/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
311 (R5)	橋梁名	坪谷橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140470			損傷の種類							橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	PCボックスカルバート (Pre)										
	橋 長	4.40m										
	幅 員	8.50m										
	架橋年次	2001年										
	経過年数	23年										
312 (R5)	橋梁名	大内橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140480			損傷の種類							道路橋の機能に支障が生じていないため、経過観察を行うことが望ましい。
	上部工形式	RCボックスカルバート										
	橋 長	9.00m										
	幅 員	7.00m										
	架橋年次	1999年										
	経過年数	25年										
313 (R5)	橋梁名	ひくぼ橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140490			損傷の種類							橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.20m										
	幅 員	3.00m										
	架橋年次	1974年										
	経過年数	50年										
314 (R5)	橋梁名	三郎落橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140500			損傷の種類							橋梁本体の機能に影響を与える損傷は認められない。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.80m										
	幅 員	3.30m										
	架橋年次	1971年										
	経過年数	53年										
315 (R5)	橋梁名	なめとこ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140520			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	3.60m										
	幅 員	3.30m										
	架橋年次	1966年										
	経過年数	58年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状











■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

表-参3. 64 定期点検結果一覧表 (64/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見																																																					
			橋 面	側 面																																																												
316 (R5)	橋梁名	おざさ橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206140530			損傷の種類							損傷が軽微であるため、経過観察するのが望ましい。																																																				
	上部工形式	単純RC床版橋																																																														
	橋 長	4.00m																																																														
	幅 員	3.40m																																																														
	架橋年次	1974年																																																														
	経過年数	50年																																																														
317 (R2)	橋梁名	丸木橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206140550			損傷の種類							特になし。																																																				
	上部工形式	単純RC床版橋																																																														
	橋 長	4.00m																																																														
	幅 員	4.50m																																																														
	架橋年次	1952年																																																														
	経過年数	72年																																																														
318 (R2)	橋梁名	下口下橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位	主桁	健全性：Ⅱ(3)					道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅱ】 床版に剥離が一部見られるが、局所的な損傷であるため予防保全的観点から対策を行うことが望ましい。																																																				
	橋梁管理番号	17206140560			損傷の種類	その他（剥離）																																																										
	上部工形式	単純RC床版橋																																																														
	橋 長	4.00m																																																														
	幅 員	4.00m																																																														
	架橋年次	1952年																																																														
	経過年数	72年																																																														
319 (R2)	橋梁名	前川橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206140580			損傷の種類							特に問題なし。																																																				
	上部工形式	単純RC床版橋																																																														
	橋 長	4.00m																																																														
	幅 員	4.10m																																																														
	架橋年次	1966年																																																														
	経過年数	58年																																																														
320 (R2)	橋梁名	あげみ橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】																																																				
	橋梁管理番号	17206140590			損傷の種類							特に問題なし。																																																				
	上部工形式	単純RC床版橋																																																														
	橋 長	4.00m																																																														
	幅 員	3.00m																																																														
	架橋年次	1964年																																																														
	経過年数	60年																																																														
■鋼部材の損傷 ①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断													■コンクリート部材の損傷 ⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常													■その他 ⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状													■付属物 ⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり													■①～⑭以外の損傷 その他												

表-参3. 65 定期点検結果一覧表 (65/65)

番号	橋梁諸元		全景写真		主な損傷状況						所 見	
			橋 面	側 面								
321 (R2)	橋梁名	ごがけ橋	終点側から起点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140600			損傷の種類							特に問題なし。
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	3.00m										
	架橋年次	1972年										
	経過年数	52年										
322 (R2)	橋梁名	ぜんまい原橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140610			損傷の種類							
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	3.40m										
	架橋年次	1967年										
	経過年数	57年										
323 (R2)	橋梁名	二又橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140620			損傷の種類							
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	3.00m										
	架橋年次	1964年										
	経過年数	60年										
324 (R2)	橋梁名	茗荷谷口橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：右側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206140630			損傷の種類							
	上部工形式	単純RC床版橋										
	橋 長	4.00m										
	幅 員	3.00m										
	架橋年次	1968年										
	経過年数	56年										
325 (R3)	橋梁名	薬師橋	起点側から終点側を望む	上流側(起点：左側)	損傷部位							道路橋毎の健全性 【判定区分：Ⅰ】
	橋梁管理番号	17206110850			損傷の種類							
	上部工形式	単純PCプレテンT桁橋										
	橋 長	23.10m										
	幅 員	7.20m										
	架橋年次	2018年										
	経過年数	6年										

■鋼部材の損傷
①腐食 ②亀裂 ③ボルトの脱落 ④破断

■コンクリート部材の損傷
⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰 ⑥鉄筋露出 ⑦抜け落ち ⑧床版ひびわれ ⑨PC定着部の異常

■その他
⑩路面の凹凸 ⑪支承の機能障害 ⑫下部工の変状

■付属物
⑬遊間の異常 ⑭土砂詰まり

■①～⑭以外の損傷
その他

2.4 補修基本方針

2.4.1 補修方針

これまでの諸条件を踏まえて、今後予防保全による維持管理を行い管理橋梁の延命化を図る。

2.4.2 予防保全による維持管理方針

橋梁の規模（橋長）と過年度補修実績から、以下の方針により区分する。

(1) 小規模橋梁（橋長 4.0m 以下）

プレキャストボックスカルバートによる更新とし、補修を繰り返すことで延命化を図る予防保全的な維持管理は行わない方針とする。なお、橋長 4.0m の根拠は、一般的な地形状況で運搬・据付時に支障とならないサイズとしてメーカーから聞き取り調査を実施して決定した。

(2) その他橋梁（橋長 4.0m を超過する橋梁）

1) 未補修橋梁

過年度に実施した 25 橋の補修実績はあるものの、定期点検は工事以前に実施しているため、健全性が回復したか判断できない。しかしながら、補修内容から過年度から多く実施されている補修工種を適用しているため、補修内容は適切であったと判断する。

よって、未補修橋梁についても以下に示す過去に加賀市で実施した実績のある工種や、一般的な工種を適宜選択し決定していく。

①日常的な維持管理

路肩脇に堆積した土砂堆積の除去

②定期点検時の措置

鉄筋露出部を防錆材塗布による応急措置

支承付近や橋座面の土砂堆積除去

鳥の巣や鳥の糞害除去

高欄のボルト・ナット、付属物取付金具の締め直し

③点検強化

「健全性Ⅲ」や「健全性Ⅱ」でも重要度が高い橋梁等では、5 年/1 回の定期点検以外にも、点検を実施する。

④補修項目

・上部工等の鋼製部材

○塗装塗替（Rc-Ⅰ～Rc-Ⅲ）→経年劣化による鋼材腐食防止

※塗膜に有害物質が含まれている可能性があるため、成分分析の上実施する。

・コンクリート部材一般

○ひび割れ注入工（0.2mm 以上を原則）→劣化因子の侵入，鋼材腐食防止 図 2.4.1 参照

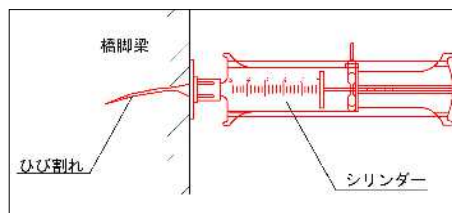


図 2.4.1 ひび割れ注入工

○断面修復工（鉄筋かぶりが確保出来る場合）

→劣化因子の侵入，鋼材腐食防止 図 2.4.2 参照

施工法	左官工法	吹付け工法(乾式、湿式)	充てん工法
型枠設置	不要。	不要。	必要。
施工規模と施工面	小規模または複雑な断面形状の施工が可能。	中～大規模な施工に適する。特に断面形状には左右されない。	大規模な施工が可能。(型枠設置可能で断面厚さや面積が大きい場合に効果有り。)
施工範囲	作業者の行動範囲。	圧送距離。	ポンプ圧送および運搬距離。
締固め	人力による。	圧縮空気による吹付け力(機械的)による。	振動機が標準。高流動材料では自己充填性能による。
充てん性の確保	施工者の熟練度および鉄筋配筋の狭隙程度が重要。	吹付けモルタル量、圧縮空気の圧力および流量、吹付けノズルマンの熟練度、鉄筋配筋の狭隙程度が重要。	空気抜き装置の配置、鉄筋配筋の狭隙程度、圧入方法などの施工手順が重要。
材料の特長	材料の流動性が低く、粘調性がある。薄塗りは軽量モルタルが多い。	材料の流動性は低い。湿式は粘調性があり、乾式は超速硬化を呈す。	材料は流動性がある。
最少施工厚み	5mm以上	10mm以上	10mm以上

図 2.4.2 断面修復工法の特徴

○表面処理工（鉄筋かぶりが確保出来ない場合）

→劣化因子の侵入，鋼材腐食防止 図 2.4.3 参照

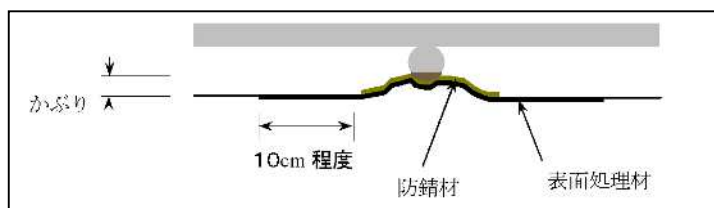


図 2.4.3 表面処理工

○表面含浸工→劣化因子の侵入，鋼材腐食防止 図 2.4.4 参照

※ひび割れが多く注入数量が増える場合(0.2mm 未満を対象)に併用すると効果的。
また、材料によって相性があるため塗り重ねる場合は注意が必要である。

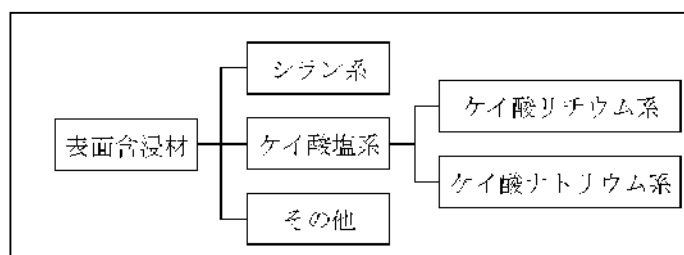


図 2.4.4 表面含浸工法の種類

- ・床版

- 床版防水工→ASR, 床版長寿命化対策
アスファルト系加熱型塗膜系防水

- 水切工 図 2.4.5

- 後付型水切工→ASR, 主桁・床版長寿命化対策

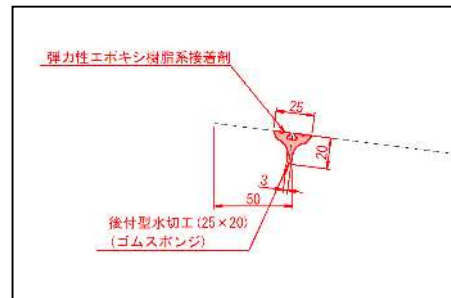


図 2.4.5 水切工

- ・伸縮装置取替

- 荷重支持型（二次止水付）による交換

※土工部と橋梁部との段差を解消するため、舗装のオーバーレイを併せて実施すると効果的である。

- ・排水管 図 2.4.6

- 鋼製管から VP 管による交換

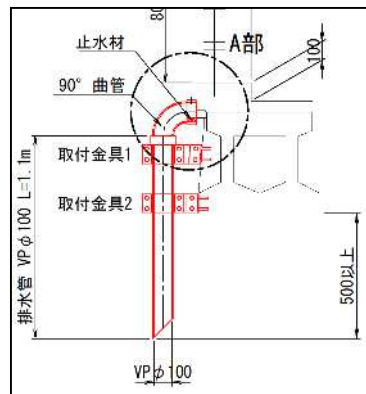


図 2.4.6 排水管取替工

2.5 施設のグルーピング

2.5.1 グルーピング

(1) グループ設定と管理水準

橋梁アセットマネジメントシステム（I-BIMS）による A～C のグループ設定（追加，削除できない），グループコード（A-S，A，B-S，B，C-S，C の 6 段階あり追加，削除できない），管理目標限界（変更できない）を加賀市橋梁 325 橋に当てはめた結果を表 2.5.2 に示す。

なお，I-BIMS におけるグループ定義および健全度判定区分は表 2.5.1 に示す通りである。

1) S グループ

アルカリ骨材反応が疑われる部材を含む橋梁，または塩害が疑われる橋梁
（塩害については海岸線からの距離＝100m 以内 かつ 架設年 1984 年以前の橋梁）

2) A グループ

緊急輸送道路の有無
跨道橋または跨線橋
※橋長問わず

3) B グループ

橋長 15m 以上
※対象橋梁は全て市町村道であるため橋長のみで規定

4) C グループ

橋長 15m 未満
※対象橋梁は全て市町村道であるため橋長のみで規定

表 2.5.1 健全度判定区分


	健全度	判定区分	
	健全度 5	健全	損傷が認められない。
	健全度 4	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない
	健全度 3	状況に応じて 早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある
	健全度 2	早急に 補修必要	速やかに補修等を行う必要がある
	健全度 1	緊急対応 の必要	緊急対応の必要がある

表 2.5.2 I-BIMS によるグルーピング結果

グループ名	グループコード	優先順位	管理目標限界	グループ選定項目				該当橋梁 (数)	
				緊急輸送 道路	架橋状況	道路種別	橋長		
Aグループ	A-S	高	健全度 3	有	道路の上 or 鉄道の上	-	-	23	3
	A								20
Bグループ	B-S	中	健全度 3	-	-	市町村道 以外	15m 以上	77	8
	B		健全度 2						69
Cグループ	C-S	低	健全度 2	-	-	市町村道	15m 未満	225	19
	C		健全度 1						206

上記の結果より、A グループが 23 橋（S グループ 3 橋）、B グループが 77 橋（S グループ 8 橋）、C グループが 225 橋（S グループ 19 橋）との結果となった。更に、加賀市独自のグルーピングが行えないか検討する。

(2) 加賀市独自のグルーピング検討

前回計画や橋梁の特徴・周辺状況、加賀市の地域特性を踏まえ、グルーピングを行った。加賀市のグルーピングでは、橋長を軸に、跨線橋や跨道橋、緊急輸送道路等の重要なネットワーク路線にかかる橋、経過年数が50年以上の橋を優先的に管理するように区分した。以下に各グループの概要を示す。

1) A グループ

A-S：橋長50m以上の橋梁のうち、跨線橋、北陸自動車道にかかる跨道橋、重要路線（緊急輸送道路および連携軸ネットワーク路線）にかかる橋梁、経過年数が50年以上となる橋梁のいずれかに該当する橋梁を対象とした。

A：上記以外の橋長50m以上の橋梁を対象とした。

2) B グループ

B-S：橋長10m以上50m未満の橋梁を対象とし、市民生活にとって密接に関係する評価項目を設定し、点数化した場合40点以上（表2.5.3参照）となる橋梁を対象とした。

B：上記以外の橋長10m以上50m未満の橋梁を対象とした。

表 2.5.3 グループBの点数評価項目と配点

評価項目	配点		
緊急輸送道路 連携軸ネットワーク路線	有	無	
	30	0	
経過年数	50年以上	50年未満	
	20	0	
跨道橋 (北陸自動車道以外)	有	無	
	10	0	
橋長	$50\text{m} > L \geq 30\text{m}$	$30\text{m} > L \geq 20\text{m}$	$20\text{m} > L \geq 10\text{m}$
	50	30	0
除雪路線	重点	第1種	第2種
	20	15	10
用途地域 or 地域拠点内道路	有	無	
	20	0	

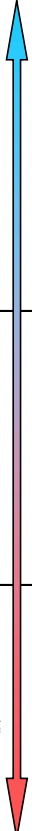
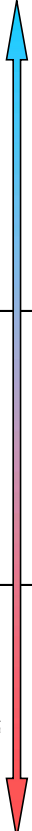
3) C グループ

C-S：橋長5m以上10m未満の橋梁を対象とした。

C：橋長5m未満の橋梁を対象とした。また、維持管理を行わず、耐用年数が過ぎた際にはプレキャストボックスカルバートに随時更新を行う計画とした。

以上の結果を、表2.5.4～表2.5.5に、グルーピング位置図を図2.5.1～図2.5.3に示す。

表 2.5.4 加賀市グルーピング結果

グループ名	グループ	優先順位	管理目標限界	グループ選定項目					該当橋梁 (数)	
				橋長	跨線橋 跨道橋 (北陸自 動車道)	緊急輸送道路 連携軸ネット ワーク路線	経過年数	合計点		
Aグループ	A-S		健全度3	50m≦L	有	-	-	-	33	14
					-	有				
	A						50年以上			19
					-	-	-			
Bグループ	B-S	中	健全度3	10≦L<50	-	-	-	40点以上	95	47
	B		健全度2					40点未満		48
Cグループ	C-S		健全度2	5≦L<10	-	-	-	-	197	72
	C		健全度1	L<5m						125
: 前回より追加または修正した項目を示す										

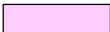
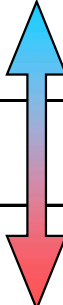
 : 前回より追加または修正した項目を示す。

表 2.5.5 加賀市グルーピング及び管理目標限界一覧

健全度		Aグループ:33橋 (橋長50m以上)		Bグループ:95橋 (10m ≤ 橋長 < 50m)		Cグループ:197橋 (橋長 < 10m)	
		A-S:14橋	A:19橋	B-S:47橋	B:48橋	C-S:72橋	C:125橋
5	良	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検
4		定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検
3		補修検討 (予防保全)	補修検討 (予防保全)	補修検討 (予防保全)	定期点検	定期点検	定期点検
2		早期補修	早期補修	早期補修	早期補修	早期補修	定期点検
1	悪	大規模補修 更新	大規模補修 更新	大規模補修 更新	大規模補修 更新	大規模補修 更新	更新

～参考～ 前回グループと今回グループの比較

表-参 1.1 前回グルーピングと今回グルーピングの比較

表

前回グルーピング

今回グルーピング

表1 前回計画(令和元(2019)年度)

グループ名	グループ	優先順位	管理目標限界	グループ選定項目				該当橋梁(数)											
				緊急輸送道路	広域道路ネットワーク路線	架橋状況	橋長or径間数												
グループA	A-S	高	健全度3	有	有	道路の上 or 鉄道の上	-	37	28	鋼橋	4								
	PC橋									16									
	RC橋									2									
	BOX									6									
	グループB									A	中	健全度3	-	-	-	4径間以上	9	鋼橋	4
										PC橋								4	
RC橋		1																	
BOX		0																	
グループB		B-S	中	健全度3	-	-	-	15m ≦ L	69	鋼橋								28	
		PC橋								31									
	RC橋	8																	
	BOX	2																	
	グループC	B								低	健全度2	-	-	-	10m ≦ L < 15m	33	鋼橋	4	
		PC橋															19		
RC橋		8																	
BOX		2																	
グループC		C-S	低	健全度2	-	-	-	5m ≦ L < 10m	61								鋼橋	5	
		PC橋															23		
	RC橋	21																	
	BOX	12																	
	グループC	C								低	健全度1	-	-	-	L < 5m	129	PC橋	2	
		RC橋															89		
BOX		38																	

表2 グルーピング

グループ名	グループ	優先順位	管理目標限界	グループ選定項目					該当橋梁(数)							
				橋長	跨線橋 跨道橋 (北陸自動車道)	緊急輸送道路 連携軸ネットワーク路線	経過年数	合計点								
Aグループ	A-S	高	健全度3	50m ≦ L	有	-	-	-	33	14						
					-	有	-	-								
					-	-	50年以上	-								
					-	-	-	-								
					Bグループ	A	中	健全度3			10 ≦ L < 50	-	-	-	40点以上	47
												-	-	-	-	
-	-	-	-													
-	-	-	-													
Bグループ	B-S	中	健全度3	10 ≦ L < 50					-	-		-	40点未満	48		
									-	-		-	-			
					-	-	-	-								
					-	-	-	-								
					Cグループ	C-S	低	健全度2	5 ≦ L < 10	-	-	-	-		72	
										-	-	-	-			
-	-	-	-													
-	-	-	-													
Cグループ	C	低	健全度1	L < 5m						-	-	-	-	125		
										-	-	-	-			
					-	-	-	-								
					-	-	-	-								

※ : 変更箇所

表3 Bグループの点数評価項目と配点

評価項目	配点		
緊急輸送道路	有	無	
	30	0	
経過年数	50年以上	50年未満	
	20	0	
跨道橋 (北陸自動車道以外)	有	無	
	10	0	
橋長	50m > L ≧ 30m	30m > L ≧ 20m	20m > L ≧ 10m
	50	30	0
除雪路線	重点	第1種	第2種
	20	15	10
用途地域 or 地域拠点内道路	有	無	
	20	0	

表4 選定項目と詳細

項目	詳細
連携軸ネットワーク路線	マスタープラン地域別構想の各地域最終ページまちづくり方針図に記載されている、市内を格子状に形成し、幹線道路に繋がるアクセス路線。
重点除雪路線	国道8号の代替路線、県重点除雪路線との連続性を保つべき路線、高速道路インターチェンジへのアクセス路線として重要なもの。常時2車線以上の幅員確保を
第1種除雪路線	バス路線及び集落と集落を結ぶ幹線道路。2車線以上の幅員確保を目標とする。
第2種除雪路線	準幹線道路。2車線幅員の確保を目標とするが、状況によっては1車線幅員で、待避所を設ける。
用途地域	住居、商業、工業など市街地の大概としての土地利用を定めるもの。
地域拠点内道路	マスタープランP56に記載されている地域拠点内の道路。

1) グループA

重要な道路ネットワーク上にある橋梁をA-Sグループとし、4径間以上の橋梁をAグループとした。

・A-Sグループ：重要な道路ネットワーク上にある橋梁

・Aグループ：4径間以上の橋梁

2) グループB

橋長15m以上の橋梁をB-Sグループとし、橋長10m以上15m未満の橋梁をBグループとした。

・B-Sグループ：15m ≦ 橋長

・Bグループ：10m ≦ 橋長 < 15m

3) グループC

橋長5m以上10m未満の橋梁をC-Sグループとし、橋長5m未満の橋梁をCグループとした。

・C-Sグループ：5m ≦ 橋長 < 10m

・Cグループ：橋長 < 5m（維持管理を行わず、耐用年数が過ぎた際にはプレキャストボックスカルバートにより随時更新する計画とする）

1) グループA

橋長50m以上の橋梁を対象とした。

・A-Sグループ：橋長50m以上かつ跨線橋、跨道橋(北陸自動車道の上に架橋)、重要路線(緊急輸送道路、連携軸ネットワーク路線)、経過年数50年以上の橋梁

・Aグループ：橋長50m以上のA-S以外の橋梁

2) グループB

市民生活にとって密接に関係する路線がB-Sになるよう点数制を採用。

橋長10m以上50m未満の橋梁を対象とした。

・B-Sグループ：合計点40点以上の橋梁

・Bグループ：合計点40点未満の橋梁

3) グループC

橋長10m未満の橋梁を対象とした。

・C-Sグループ：5m ≦ 橋長 < 10m

・Cグループ：橋長 < 5m（維持管理を行わず、耐用年数が過ぎた際にはプレキャストボックスカルバートにより随時更新する計画とする）

<変更点>

・跨道橋の桁下状況が北陸自動車道から農道まで様々だったためAグループは北陸自動車道に限定した。

・連携軸ネットワークは前回計画にある広域道路ネットワーク路線を含む市内の各拠点を連絡する重要な路線であるため追加。

・径間数に関わらず、橋長が長いと復旧にコストと時間がかかるため変更。橋長50m以上に設定した理由として、前回計画の4径間以上の橋梁はすべて橋長50m以上であることと、二級河川である大聖寺川、動橋川にかかる橋梁を含めるため。

・本業務対象の健全度Ⅱ以上の橋梁147橋のうち全体の60%である87橋が経過年数50年以上ということから、経過年数が増すと劣化する傾向があるため追加。

<変更点>

・跨道橋の桁下状況が北陸自動車道から農道まで様々だったためBグループは北陸自動車道以外の跨道橋を追加。

・加賀市南部は山間部であり積雪量が多く、積雪時は車両が集中するため追加。

・用途地域は市民の生活拠点であるため追加。

・用途地域に地域拠点内道路が含まれるが、橋立地域のみ用途地域が設定されていないため、地域拠点内道路も追加。

変更なし

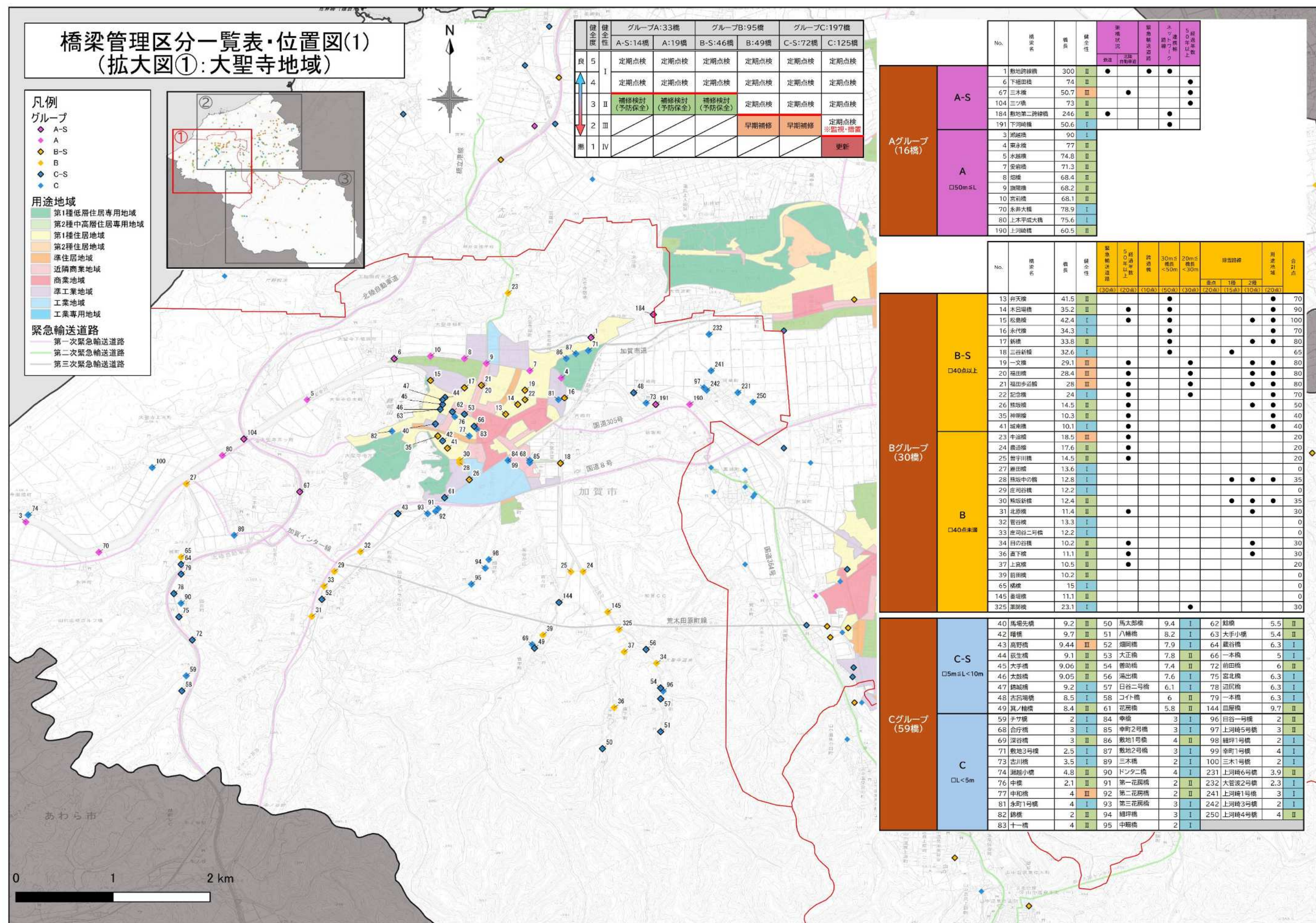


図 2.5.1 グルーピング位置図 (大聖寺地域)

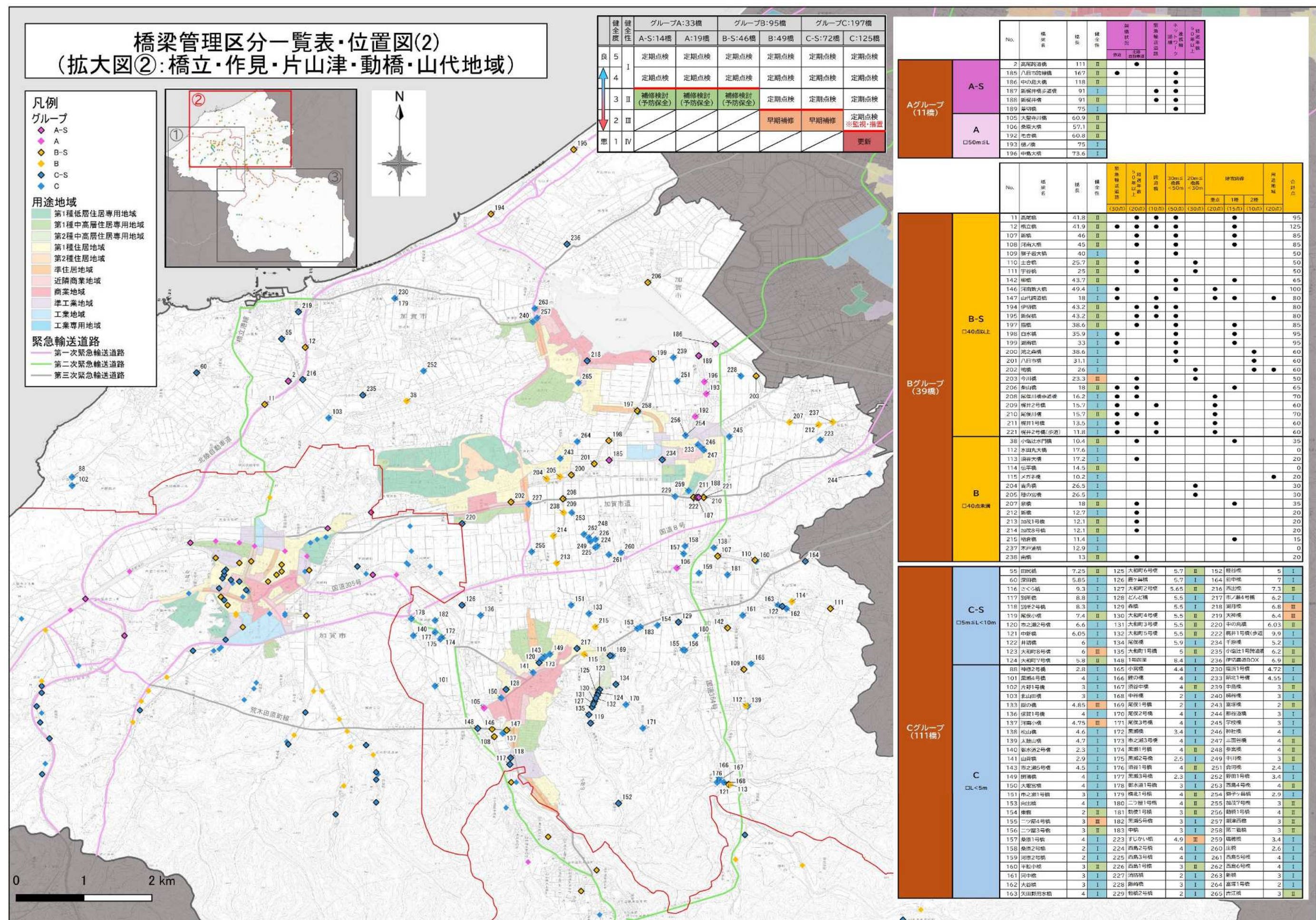


図 2.5.2 グループ別位置図 (橋立・作見・片山津・動橋・山代地域)

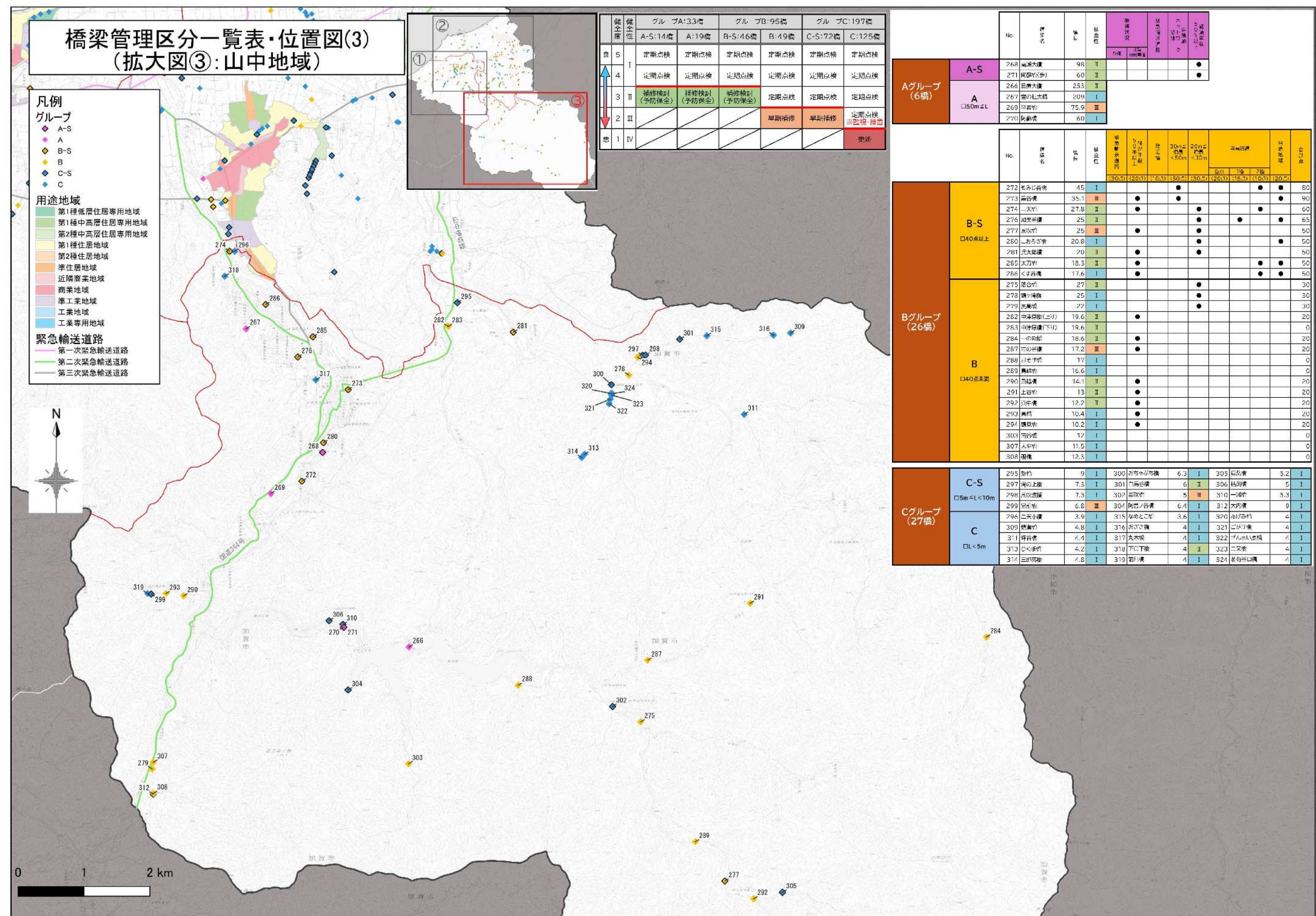


図 2.5.3 グルーピング位置図 (山中地域)

2.6 優先順位の検討

2.6.1 補修の優先順位の検討

ここでは、優先順位の検討を行う。

I-BIMS では、図 2.6.1 に示すように「橋梁のグルーピング」中の「グルーピング」と「P（優先度指標）」を策定することにより、補修の優先順位が決定する。

この中に「健全性の詳細評価」の結果を加味することで優先順位の検討を行う。

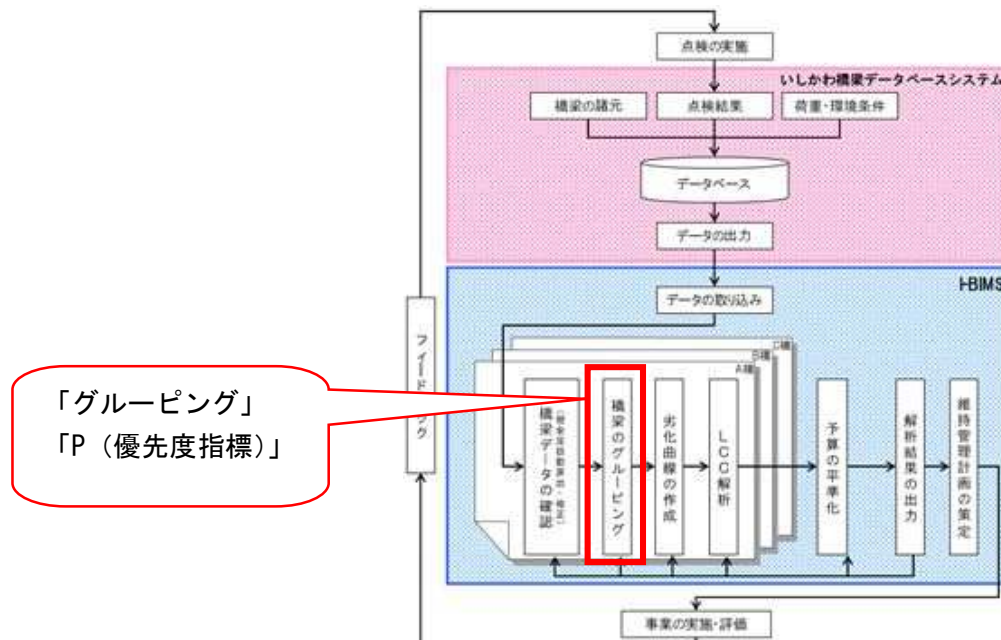


図 2.6.1 I-BIMS のシステムフロー

2.6.2 P（優先度指標）

補修の優先順位決定要素と優先順位のイメージを表 2.6.1～表 2.6.2 に示す。補修の優先順位決定要素で任意設定できる（後述）P（優先度指標）に「健全性の詳細評価」の項目を追加し、補修の優先順位に結果を反映させる。

表 2.6.1 重み係数と健全度係数の一覧表

優先度	優先順位決定要素	説明
1	健全度 1 以下	チェックにより考慮有無を変更可能 (健全度 1 以下の部材を含む橋梁)
2	グループ	チェックにより考慮有無を変更可能 (グループの高い橋梁順・A→S→C)
3	P (Priority)	優先度指標: $P = \alpha \times (100 - BHI) - (1 - \alpha) \times BPI$
4	BHI (Bridge Health Index)	橋梁健全度指標 $BHI_j = \sum_i D_i \cdot a(R_{ij})$
5	BPI (Bridge Priority Index)	橋梁重要度指標 $BPI = \sum_i (p_i \cdot w_i)$ (直接入力により変更可能)
6	定期メンテナンス部材 の優先順位	健全度評価区分には関係しない
7	橋齢	古い橋梁を優先

表 2.6.2 補修の優先順位のイメージ

優先 順位	橋梁名	優 先 度						
		① 健全度 1以下	② グループ	③ 優先度 (P)	④ 健全度 (BHI)	⑤ 重要度 (BPI)	⑥ 定期 メンテナンス	⑦ 経過年
1	A橋	有	A	高	悪	高	—	新
2	B橋	有	B	低	良	低	—	新
3	C橋	無	A	高	悪	高	—	新
4	D橋	無	A	低	悪	低	—	新
5	E橋	無	B	低	悪	低	—	新
6	F橋	無	B	低	良	高	—	新
7	G橋	無	B	低	良	低	—	古
8	H橋	無	B	低	良	低	—	新
9	I橋	無	C-S	高	悪	高	—	古
10	J橋	無	C	高	悪	高	—	古

2.6.3 加賀市の補修の優先順位の検討

加賀市の補修の優先順位の検討結果を行う。補修の優先順位は、補修の優先度指標「P」により、決定する。P（優先度指標）は、 α （重み係数）、BHI（橋梁健全度指標）、BPI（橋梁重要度指標）から構成されており、橋梁ごとに算出し優先順位を設定する。それぞれの算出方法を下記に示す。

(1) P（優先度指標）の算出方法

P の算出方法を下式に示す。

$$P = \alpha \times (100 - BHI) + (1 - \alpha) \times BPI$$

P : 優先度指標（高いものから優先的に補修）

α : 重み係数（初期値は「 $\alpha = 0.6$ 」）

BHI : 橋梁健全度指標 ※変更不可

BPI : 橋梁重要度指標

(2) α （重み係数）の算出方法

α は重み係数で、「 $\alpha = 0.6$ 」とし、BHI（橋梁健全度指標）に重きを置いた係数とする。

(3) BHI（橋梁健全度指標）の算出方法

BHI は、表 2.6.3 に示すように橋梁の健全度と部材の重み係数から構成されており、各項目の情報及び設定された重み係数を用いて、加重平均により算出する。劣化予測に伴い、健全度及び BHI は毎年変化するため、BHI は単年度ごとに算出する。また、BHI は径間ごとに算出し、橋梁全体のうち最も低い BHI の径間を橋梁の代表 BHI として採用する。

BHI は、下式により算出する。

$$BHI_j = \sum_i D_i \cdot a(R_{ij})$$

I : 部材

j : 径間番号

D_i : 部材 i の重み係数

$a(R_{ij})$: 対象径間、対象部材の健全度に対する健全度係数